



**BMW
MOTORRAD**

RIDER'S MANUAL

R 12 G/S



MAKE LIFE A RIDE

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

電話番号

ディーラー所在地／電話(スタンプ)

BMWの世界へようこそ。

をご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorradをご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorradのライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された新規車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。

また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備とお手入れに関する情報が掲載されています。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad。

01 一般的な情報	2	警告表示	29
分かりやすい構成	4	サービス表示	49
記号と意味	4		
装備	5	04 メーターパネル	52
仕様(諸元)	5	警告	54
本書の記述について	5	操作エレメント	54
補足情報	6	操作	56
認証および運転許可	6	Setup	61
データ処理について	6	ディスプレイ	62
Bluetooth®	10	設定	63
Connectivity 機能	11		
		05 取扱方法	64
02 全体図	12	ステアリングロック	66
左側面	14	イグニッション	67
右側面	15	イグニッションキルス	
シート下	16	イッチ	71
左コンビネーションス		照明	72
イッチ	17	盗難警報装置(DWA)	75
右コンビネーションス		ダイナミックトラクショ	
イッチ	18	ンコントロール(DTC)	78
メーターパネル	19	走行モード	79
Digital Display メーター		クルーズコントロール	81
パネル	20	Hill Start Control Pro	
		(HSC Pro)	84
03 表示	22	タイヤ空気圧コントロー	
インジケーター／警告灯		ル(RDC)	86
丸型メーターのディスプ	24	グリップヒーター	86
レイ	25	ConnectedRide Control	87
デジタルディスプレイの		シート	90
インジケーター／警告灯	26		
デジタルディスプレイの		06 調整	94
スタート画面	27	ミラー	96
PURE RIDE デジタルディス		ヘッドライト	96
プレイ	28	クラッチ	97

ブレーキ	98	Hill Start Control Pro	
シフト動作	99	(HSC Pro)	139
ハンドルバー	99	コーナリングライト	141
スプリングプリロード	100		
ショックアブソーバー	103		
<hr/>			
07 走行	108	09 メインテナンス	142
安全に関する注意事項	110	一般的な情報	144
定期点検	113	ツールキット	145
始動	114	フロントホイールスタン	
慣らし走行	115	ド	146
オフロード走行	116	リヤホイールスタンド	146
ギヤシフトアシストPro	117	エンジンオイル	146
ブレーキ	118	ブレーキシステム	148
駐車	121	クラッチ	153
給油	121	タイヤ	154
モーターサイクルを搬送		ホイールリム	155
用に固定します	123	ホイール	155
		ライトバルブ	163
		ジャンプスタート	163
		バッテリー	165
		ヒューズ	168
		診断コネクター	170
<hr/>			
08 技術情報	126	10 アクセサリー	172
一般的な情報	128	一般的な情報	174
アンチロックブレーキシ		電源ソケット	174
ステム(ABS)	128	USB 充電ポート	175
ダイナミックトラクショ		ラゲッジ(荷物)	176
ンコントロール(DTC)	131	ナビゲーションシステム	177
エンジンブレーキトルク		アクセサリー	180
レギュレーター(MSR)	132		
Battery Guard	133		
走行モード	134		
ダイナミックブレーキコ			
ントロール	136		
タイヤ空気圧コントロー			
ル(RDC)	137		
ギヤシフトアシスト	138		

11	お手入れ	182	BMW Motorrad モビリティ	
	ケア用品	184	サービス	208
	洗車	184	メンテナンス作業	208
	損傷しやすい車両部品の		メンテナンススケ	
	お手入れ	185	ジュール	210
	ペイントのお手入れ	186	BMW Motorrad 初回点検	212
	保護コーティング	187	メンテナンスの確認	213
	長期保管	187		
	モーターサイクルの再使			
	用	188		
<hr/>			付録	226
12	テクニカルデータ	190	Radio equipment TFT	
	トラブルシューティング	192	instrument cluster	227
	ねじ止め部	193	Keyless Ride System	
	燃料	195	Main Unit	227
	エンジンオイル	195	Keyless Ride System	
	エンジン	196	Active Key	228
	クラッチ	196		
	ギヤボックス	196		
	リヤホイールドライブ	196		
	フレーム	197		
	サスペンション	197		
	ブレーキ	197		
	ホイールとタイヤ	198		
	電装系	199		
	バッテリー	200		
	寸法	201		
	重量	202		
	性能	202		
<hr/>			索引	230
13	サービス	204		
	リサイクル	206		
	BMW Motorrad サービス	207		
	BMW Motorrad サービス履			
	歴	208		

一般的な情報

01


分かりやすい構成	4
記号と意味	4
装備	5
仕様(諸元)	5
本書の記述について	5
補足情報	6
認証および運転許可	6
データ処理について	6
BLUETOOTH®	10
CONNECTIVITY 機能	11


4 一般的な情報


分かりやすい構成


本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、車両の概要を確認したいという場合には、第2章をご覧ください。「サービス」の章には、実施されたメインテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

記号と意味


 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、

保証の対象外になる可能性があります。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

- 作業内容の指示を示します。
- » 作業の結果を示します。
- ➡ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様(諸元)。

OE オプション装備
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で見積りされ、装着されます。

OA アクセサリー
BMW Motorrad アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。

ABS	アンチロックブレーキシステム。
DTC	ダイナミックトラクションコントロール。
DWA	盗難警報装置(DWA)。
EWS	電子式イモビライザー。
HSC	Hill Start Control
MSR	エンジントルクレギュレーター
RDC	タイヤ空気圧コントロール。

装備

BMW Motorradのご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMWがご用意しているオプション(OE)および選択したアクセサリー(OA)について説明していません。そのため、ご使用のモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。

ご使用のモーターサイクルに、本書に記載されていない装備が含まれている場合には、別途用意

されている個別の説明書の記載をご参照ください。

仕様(諸元)

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN(ドイツ工業規格)およびその許容差規定に基づいて表記されています。

本取扱説明書のテクニカルデータと仕様は基準として参照してください。選択されたオプション装備品、国別仕様または各国の測定方法などの理由により、モデル独自のデータは本書と異なることがあります。詳細データについては自動車登録証でご確認いただけます。あるいは、BMW Motorradディーラー、その他の認定サービスパートナー、または専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

本書の記述について

BMW モーターサイクルの高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際の車両とは異なる場合があります。モーターサイクルの製造時点で、本書は最新の情報源です。編集終了時点後の更新によ

6 一般的な情報

り、印刷版とオンライン版で違いが生じることがあります。

更新情報については、bmw-motorrad.com/serviceでご確認いただけます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでも喜んでご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術関連情報など、BMW Motorrad に関する一般的な情報については、bmw-motorrad.com/manuals をご覧ください。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリーに関する一般操作許可証については、

bmw-motorrad.com/certification でご確認いただけます。

オープンソースソフトウェア

一部のシャシーコンポーネントではオープンソースソフトウェアが使用されています。オープンソースソフトウェアに関する情報は

bmw-motorrad.com/certification にあります。

データ処理について

一般的な情報

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能やインフォテイメント機能を可能にします。

保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に応じて、車両識別番号、ライセンスナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用した ConnectedDrive アカウントなどにより車両で集められたデータによってライダーや車両所有者を特定することもできます。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護法にしたがい、メーカーや個人データを収集または処理する企業に対して特定の権利を有します。

車両使用者は、車両使用者の個人データを保存する機関に対して無償および包括的な情報開示請求権を有します。

この機関とは次のようなものがあります：

- 車両メーカー
- 認定されたBMW Motorradディーラー
- 専門の整備工場
- サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報保存され、どのような目的でそのデータが利用され、どこに由来するのか、についての情報を請求することができます。これらの情報を請求するには、所有または使用証明が必要です。

情報開示請求には他の企業や機関に転送されたデータに関する情報も含まれます。

車両メーカーのウェブサイトには、有効なデータ保護に関する注意事項が記載されています。このデータ保護に関する注意事項には、データの削除や訂正を行う権利についての情報も含まれます。車両メーカーはインターネットでも、連絡先データやデー

タ保護委託会社の問い合わせ先を記載しています。

車両所有者はBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナー、専門の整備工場において車両に保存されたデータを有償で読み出すことができます。

車両データの読み出しは、法律で規定された12V診断ソケット(OBD)から行います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲内で、保存されているデータを官庁に提供する義務があります。必要範囲のデータ提供は、犯罪証明など個別のケースで行われます。

国の機関は有効な法の範囲内で、個別のケースにおいてその機関でデータを車両から読み出す権利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロールユニットがデータを処理します。

例えば以下が含まれます：

- ホイール回転数、ホイール回転速度、動作遅延などの、モーターサイクルおよびその個々のコンポーネントのステータスメッセージ

8 一般的な情報

-温度などの環境条件

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。

これらの情報は一般に、以下のようなコンポーネント、モジュール、システム、および環境の状態を示すものです：

- システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など
- 重要なシステムコンポーネントの機能不良、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要です。さらにこれらのデータは機能不良の検出と解消、車両メーカーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況

に応じてイベントまたはディフェクトメモリーに保存されません。

例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読み出しは、BMW Motorrad ディーラーまたは専門ワークショップで行うことができます。読み出しは、法律で規定された 12-V 診断ソケット (OBD) から行います。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータは顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場において修理またはサー

ビス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送

一般的な情報

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ
- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ
- 入力された目的地
- インターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USBメモリー、MP3プレーヤーなど、車両と接続された機器に入っています。これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人

の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。

その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端末機器に特定の情報が伝送されません。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。

その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

サービス

一般的な情報

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットによ

10 一般的な情報

り、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介していわゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は rider's manual やメーカーのウェブサイトなど適切な箇所にあります。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用 IT システムとの安全な接続を介して行われます。

サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接続をオンまたはオフにすることもできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスはその都度該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護条件および利用条件の下で行われます。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

BLUETOOTH®


Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイス(限定された受信可能距離で伝送)として、2.402...2.480 GHz 間のライセンスフリーの ISM 帯域(産業、科学、医療帯域)で通信します。この機能は世界中で免許不要で利用することができます。Bluetooth は、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されているものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が阻害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を1つの Bluetooth ネットワークで利用している場合、あらゆる

状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されている Bluetooth 標準規格が不十分な機器。
- 周辺に他の Bluetooth 対応機器がある。
- メタル製シールドまたは身体。

的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。


 iOS オペレーティングシステム搭載機器など一部のモバイル端末では、使用前に BMW Motorrad Connected アプリを呼び出す必要があります。

CONNECTIVITY 機能

Connectivity 機能にはメディア、電話、ナビゲーションに関するものが含まれます。

Connectivity 機能は、メーターパネルがモバイル端末およびヘルメットと接続されているときに利用可能です (▶▶ 87)。Connectivity 機能に関する詳細情報についてはこちらをご覧ください：

bmw-motorrad.com/connectivity

 モバイル端末によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected App で、利用情報および車両情報を呼び出すことができます。ナビゲーションなどのいくつかの機能を利用するには、アプリがモバイル端末にインストールされ、メーターパネルと接続されている必要があります。App を使用して目

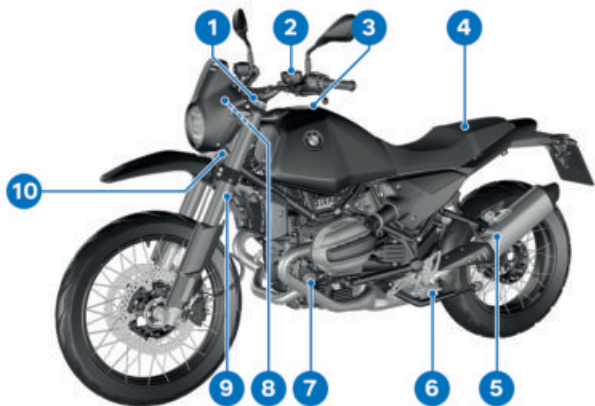
全体図

02

左側面	14
右側面	15
シート下	16
左コンビネーションスイッチ	17
右コンビネーションスイッチ	18
メーターパネル	19
DIGITAL DISPLAY メーターパネル	20

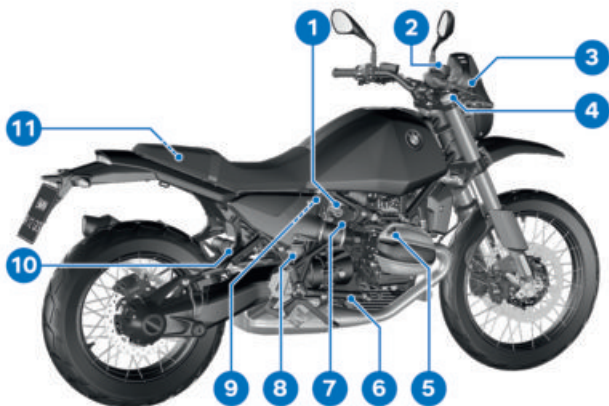
14 全体図

左側面



- | | |
|--|--------------------------------------|
| <p>1 フロントホイールのスプリングプリロード (▶▶▶▶ 100)
フロントホイールのショックアブソーバー (▶▶▶▶ 103)</p> <p>2 クラッチフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 153)</p> <p>3 フューエル注入口 (▶▶▶▶ 121)</p> <p>4 固定ベルト</p> <p>5 パッセンジャー用フットレスト</p> <p>6 フロントフットレスト</p> <p>7 エンジンオイルレベル表示 (▶▶▶▶ 146)</p> <p>8 USB 充電ポート (▶▶▶▶ 175)</p> <p>9 タイヤ空気圧表 (▶▶▶▶ 154)</p> | <p>10 型式プレート(ステアリングヘッドベアリングのところ)</p> |
|--|--------------------------------------|

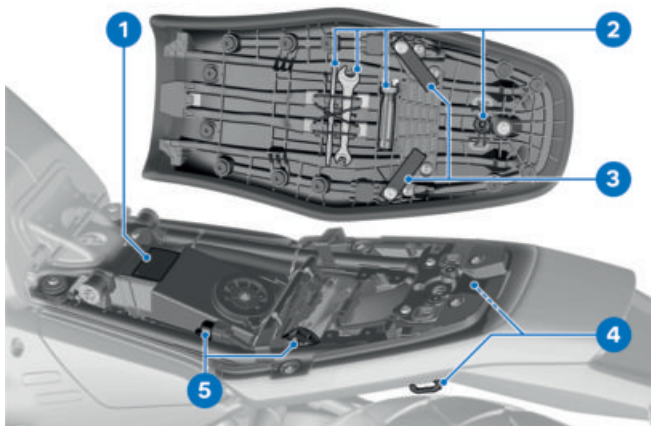
右側面



- | | | | |
|---|--|----|------------------------------------|
| 1 | リアホイールのスプリング
プリロード (▶▶▶ 102) | 8 | リアブレーキフルードリ
ザーバータンク (▶▶▶ 152) |
| 2 | オイル注入口 (▶▶▶ 147) | 9 | リアホイールのリバウンド
ダンピング (▶▶▶ 105) |
| 3 | フロントブレーキフルード
リザーバータンク (▶▶▶ 151) | 10 | リアホイールのコンプレッ
ションダンピング (▶▶▶ 106) |
| 4 | 電源ソケット (▶▶▶ 166) | 11 | シートを取り外す (▶▶▶ 90) |
| 5 | フロントホイールのスプリ
ングプリロード (▶▶▶ 100)
フロントホイールのショッ
クアブソーバー (▶▶▶ 103) | | |
| 6 | 車両識別番号 | | |
| 7 | 診断コネクタ (▶▶▶ 170)
車載ツールキット(診
断コネクタカバー内)
(▶▶▶ 145) | | |

16 全体図

シート下



- 1 積載荷重一覧
- 2 ツールキット (☞ 145)
- 3 ロングシングルシート固定フック (☞ 176)
- 4 リヤフレーム固定フック (☞ 176)
- 5 ヒューズ (☞ 168)

左コンビネーションスイッチ



- 1 ハザードランプ (▶▶▶ 74)
- 2 トラクションコントロール (DTC) (▶▶▶ 78)
補助ヘッドライト (▶▶▶ 73)
- 3 ウィンカー (▶▶▶ 75)
- 4 ホーン
- 5 ロッカースイッチ (▶▶▶ 54)
- 6 Multi-Controller (▶▶▶ 90)
- 7 グリップヒーター (▶▶▶ 86)
- 8 ハイビームとパッシングライト (▶▶▶ 72)
- 9 クルーズコントロール (▶▶▶ 81)

メーターパネル



- 1 スピードメーター
- 2 インジケーター／警告灯 (▶▶▶ 24)
- 3 メーターパネル照明の明るさ制御用フォトダイオード
インジケーター／警告灯
Keyless Ride (▶▶▶ 67)
DWA 発光ダイオード(LED)
(▶▶▶ 75)
- 4 ディスプレイ (▶▶▶ 25)

20 全体図

DIGITAL DISPLAY メーターパネル

-Digital Display^{OE} 装備



- 1 ディスプレイ
- 2 ディスプレイの明るさ制御用フォトダイオード
DWA 発光ダイオード(LED)
(☞ 75)
- 3 ABS インジケーター／警告灯 (☞ 128)

表示

03

インジケーター／警告灯	24
丸型メーターのディスプレイ	25
デジタルディスプレイのインジケーター／警告灯	26
デジタルディスプレイのスタート画面	27
PURE RIDE デジタルディスプレイ	28
警告表示	29
サービス表示	49

24 表示

インジケーター／警告灯



- 1 ABS (▶▶▶▶ 128)
- 2 補助ヘッドライト (▶▶▶▶ 73)
- 3 ハイビーム (▶▶▶▶ 72)
- 4 デイライト (▶▶▶▶ 73)
- 5 駆動システム故障警告灯 (▶▶▶▶ 43)
- 6 ニュートラルインジケーター
- 7 クルーズコントロール (▶▶▶▶ 81)
- 8 ウィンカー (▶▶▶▶ 75)
- 9 DTC (▶▶▶▶ 78)
- 10 ジェネラル警告灯
ディスプレイの警告アイコンと組み合わせた表示 (▶▶▶▶ 29)

丸型メーターのディスプレイ

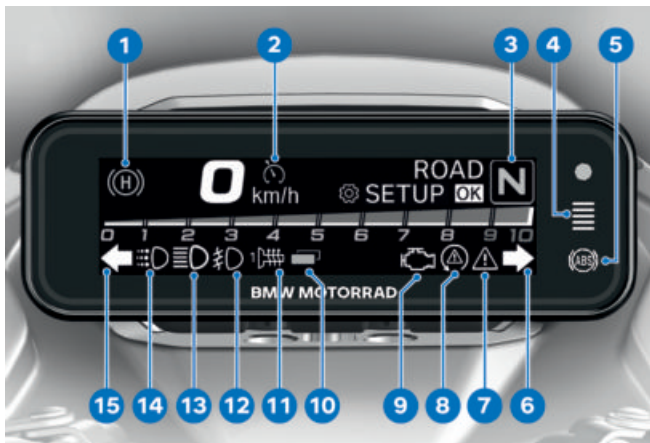


- 1 走行モードを選択する (▶▶▶▶ 80)
- 2 ギヤインジケーター
- 3 選択された表示の単位
- 4 オンボードコンピュータースピードメーターの表示を選択する (▶▶▶▶ 56)
警告マーク (▶▶▶▶ 29)
ステータス

26 表示

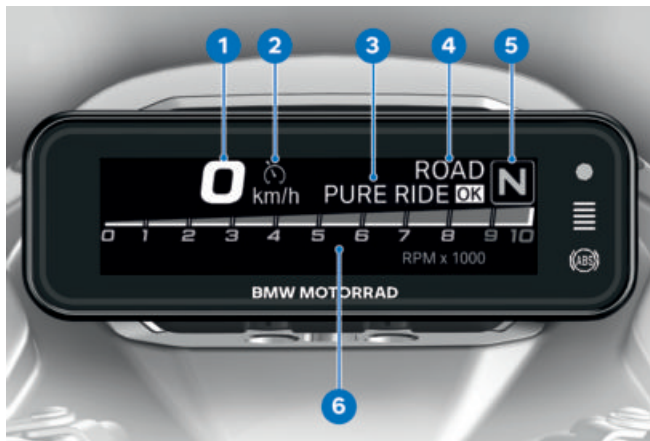
デジタルディスプレイのインジケータ／警告灯

–Digital Display^{OE} 装備



- | | |
|--|---|
| 1 Hill Start Control Pro (▶▶▶ 84) | 7 ジェネラル警告灯
ディスプレイの警告アイコンと組み合わせた表示 (▶▶▶ 29) |
| 2 クルーズコントロール (▶▶▶ 81) | 8 DTC (▶▶▶ 78) |
| 3 ニュートラルインジケータ
ギヤインジケータ | 9 駆動システム故障警告灯 (▶▶▶ 43) |
| 4 ディスプレイの明るさ制御用フォトダイオード
DWA 発光ダイオード(LED) (▶▶▶ 75) | 10 Bluetooth 接続が有効です (▶▶▶ 89) |
| 5 ABS (▶▶▶ 128) | 11 グリップヒーター (▶▶▶ 86) |
| 6 右側ウインカー | 12 補助ヘッドライト (▶▶▶ 73) |
| | 13 ハイビーム (▶▶▶ 72) |
| | 14 デイライト (▶▶▶ 73) |
| | 15 左側ウインカー |

デジタルディスプレイのスタート画面

-Digital Display^{OE} 装備

- 1 スピードメーター
- 2 クルーズコントロール (▶▶▶ 81)
- 3 PURE RIDE を呼び出す (▶▶▶ 28)
オンボードコンピューターを呼び出す (▶▶▶ 58)
SETUP を呼び出す (▶▶▶ 61)
- 4 走行モード (▶▶▶ 79)
- 5 ギヤインジケーター
- 6 エンジン回転数表示

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

複数の警告がある場合には、関連するすべての警告灯が表示されます。警告に関連している警告アイコンが、順々に表示されます。

以降のページに警告表示の一覧があります。



特定の警告灯のない警告は、次のように表示されます。

- ジェネラル警告灯 1
- エラー ID 2
- 警告マーク 3

後述の一覧で、エラー ID 2 を使用して各エラーの意味と考えられる原因を特定することができます。



警告を確認する

警告 2 はロッカースイッチ 1 上側または下側を短押しして確認する必要があります。

警告 2 の確認が済むと、最後にアクティブな表示が現れます。複数の警告がある場合には、ロッカースイッチ 1 を押すことにより、順に次の警告 2 を呼び出して、確認する必要があります。



アクティブな警告を呼び出す

ロッカースイッチ 1 を繰り返し短押しし、警告 2 を表示させます。

ロッカースイッチ 1 を再度押すと、その度に順に次の警告 2 が呼び出されます。


30 表示

故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができます。

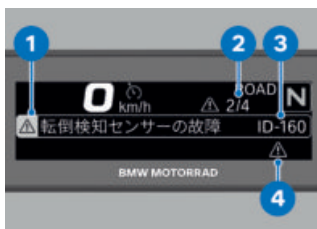
-Digital Display^{OE} 装備

デジタルディスプレイの表示

警告はジェネラル警告灯とメーターパネル内のダイアログおよび識別番号との組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。

 ジェネラル警告灯が、警告の緊急性に応じて表示されます。

以降のページに警告表示の一覧があります。



警告画面のデジタルディスプレイ

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

- 黄色い三角形の警告マーク **1**：警告メッセージ。
- またはその代わりに、白い円と小さな **i**：情報、または赤い **STOP**：限界を示す警告メッセージ、走行継続不可。
- メッセージの数 **2**。
- エラー ID **3**：メッセージの正確な識別用。
- ジェネラル警告灯 **4**：赤または黄(メッセージの最高度の緊急性に応じて)。

アクティブな警告が追加でポップアップとしてオンボードコンピューターを選択の中にダイナミックに表示されます。故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができません (▶▶ 58)。

警告表示一覧

インジケーター／ディスプレイテキスト
警告灯

意味


















	が表示されます。	外気温度警告 (▶▶▶ 36)
	が規則的に点滅。	ABS 自己診断が完了していない (▶▶▶ 36)
	ゆっくりと点滅します。	DTC 自己診断が完了していない (▶▶▶ 36)
	素早く点滅します。	DTC の介入 (▶▶▶ 37)
	黄色で点灯する。	 EWS エラー ID030 電子式エンジン始動ロックシステム (イモビライザー) の不具合 (▶▶▶ 37)
	黄色で点灯する。	 トラクション制御の故障 DTC が故障している (▶▶▶ 37)
	黄色で点灯する。	ID040
	黄色で点灯する。	 トラクション制御の故障 DTC が制限されている (▶▶▶ 38)
	黄色で点灯する。	ID041
	黄色で点灯する。	 ABS Pro の故障 ABS Pro 機能停止 (▶▶▶ 38)
	点灯します。	
		

32 表示










インジケーター／ 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 黄色で点灯する。  点灯します。	 ABS の故障 ID051	ABS 機能停止 (▶▶▶ 39)
 黄色で点灯する。  点灯します。	 ABS の故障 ID052	ABS の故障 (▶▶▶ 39)
 黄色で点灯する。	 無線キーの故障 ID060	無線キーが受信範囲外 (▶▶▶ 39)
 黄色で点灯する。	 無線キーの故障 ID061	Keyless Ride が故障している (▶▶▶ 40)
 黄色で点灯する。	 無線キーバッテリー ID070  無線キーバッテリー ID071	無線キーのバッテリーを交換する (▶▶▶ 40)
 黄色で点灯する。	 DWA バッテリーの故障 ID080	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 40)
	 DWA バッテリー残量低下 ID081	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶ 40)
 黄色で点灯する。	 DWA の故障 ID082	DWA が故障している (▶▶▶ 41)

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯

意味












		が白で表示されます。もうすぐサービス期日です ID090	サービス期限 (▶▶▶ 41)	
	黄色で点灯する。		が黄色で表示されます。サービス期日を過ぎました ID091	点検日超過 (▶▶▶ 41)
	黄色で点灯する。		不具合のあるバルブが表示されます ID101-ID131	ライトバルブの故障 (▶▶▶ 41)
	黄色で点灯する。		故障している車両照明が表示されます ID117/ID126	ライトコントロールの故障 (▶▶▶ 42)
	黄色で点灯する。		エンジンの故障 ID140	エンジンコントロールエラー (▶▶▶ 42)
	赤色で点滅する。		エンジン緊急警告 ID141	エンジン制御の重大な故障 (▶▶▶ 43)
	点灯または点滅。		駆動システムの故障 ID150	駆動システムの故障 (▶▶▶ 43)
	点滅します。		駆動システムの故障 ID152	駆動システムの重大な故障 (▶▶▶ 43)
	黄色で点灯する。		転倒検知センサーの故障 ID160	転倒検知センサーが故障している (▶▶▶ 44)

34 表示

インジケーター／ 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	 転倒検知センサーが作動しました ID161	転倒検知センサーが作動した (▶▶▶ 44)
 黄色で点灯する。	 サイドスタンドモニターが故障。	サイドスタンドモニターの機能不良 (▶▶▶ 44)
 黄色で点灯する。	 定速制御の故障 ID211	クルーズコントロールの故障 (▶▶▶ 44)
 黄色で点灯する。	 車両電装電圧の異常 ID250	車両電装バッテリーのオーバーヒート (▶▶▶ 45)
 赤色で点滅する。	 車両電装電圧緊急警告 ID251	電圧供給における重大なエラー (▶▶▶ 45)
 黄色で点灯する。	 車両電装電圧が限界域 ID260	車両電装システム電圧が限界値 (▶▶▶ 45)
 黄色で点灯する。	 車両電装電圧が低い ID261	ボードエレクトリック電源電圧が低い (▶▶▶ 46)
 赤色で点灯する。	 12 V 充電電圧が限界域 ID270	バッテリー電圧が限界域 (▶▶▶ 46)
 黄色で点灯する。	 エンジンの過熱 ID290	エンジン温度が高い (▶▶▶ 46)
 赤色で点灯する。	 エンジン過熱緊急警告 ID291	エンジンオーバーヒート (▶▶▶ 46)

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯

意味


 黄色で点灯する。	 タイヤ空気圧 ID301	タイヤ空気圧が許容限界域にある (▶▶▶ 47)
 赤色で点滅する。	 RDC 緊急警告 ID302, ID303	タイヤ空気圧が許容範囲外にある (▶▶▶ 47)
 黄色で点灯する。	 RDC の故障 ID304	タイヤ空気圧コントロール(RDC)が故障している (▶▶▶ 48)
 黄色で点灯する。	 RDC バッテリーの故障 ID310	タイヤ空気圧センサーのバッテリーが弱っている (▶▶▶ 48)
 黄色で点灯する。	 および走行距離計KM R またはMI Rが表示されます。	フューエルリザーブ容量に達している (▶▶▶ 48)
 黄色で点灯する。	 盗難防止 ID340	盗難防止 (▶▶▶ 49)

36 表示


外気温度

外気温度はボードコンピューターに表示されます。


停車時には、エンジン(モーター)放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン(モーター)放射熱の影響が著しい場合には、値の代わりに横線が一時的に表示されます。

 外気温度が約3℃の限界値未満になると、路面が凍結するおそれがあります。この温度を下回ると、ボードコンピューターで外気温度表示が氷結アイコンと共に点滅します。

外気温度警告

 が表示されます。

考えられる原因:

 モーターサイクル付近で測定された外気温度 <

約3℃

警告

を超えている場合でも、路面が凍結している危険約3℃事故の危険性があります

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。

- よく注意して走行してください。

ABS 自己診断が完了していない

 点滅します。


考えられる原因:

 ABS 自己診断が完了していません

自己診断が完了していないため、ABS を使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります : 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が完了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

DTC 自己診断が完了していない

 ゆっくりと点滅します。

考えられる原因:

 DTC 自己診断が完了していません

自己診断が完了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達している必要があります : min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が完了するまでDTC機能を使用できないことにご注意ください。

DTCの介入



素早く点滅します。

考えられる原因:

DTCがリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。

インジケーター／警告灯は、DTCの介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができません。

- 走行を続行することは可能です。よく注意して走行してください。

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー)の不具合



黄色で点灯する。



EWS エラー ID030

考えられる原因:

使用された車両キーに始動権限がないか、車両キーとモーターエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。

- キーストラップに取り付けられている他の車両キーを取り外します。
- 2番目の車両キーを使用します。
- 不具合のある車両キーは、BMW Motorradディーラーで交換するのが最善です。

DTCが故障している



黄色で点灯する。



黄色で点灯する。



トラクション制御の故障 ID040

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットがDTCエラーを検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。

- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC機能が制限されている、または使用できない状態であることに注意してください。

38 表示

- 走行を続行することは可能です。DTCの故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶▶ 132)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DTC が制限されている



黄色で点灯する。



黄色で点灯する。



トラクション制御の故障 ID041

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットがDTCエラーを検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能およびその他の走行ダイナミクス制御システムの使用

が制限されていることにご注意ください。

- 走行を続行することは可能です。DTCの故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶▶ 132)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



ABS Pro の故障 ID050

考えられる原因:

ABS Pro 機能のモニターが不具合を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き使用可能です。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro エラーメッセージにつながる可能性のある特別な状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶▶ 130)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止

黄色で点灯する。



点灯します。



ABS の故障 ID051

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージにつながる可能性のある特別な状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶ 130)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS の故障

黄色で点灯する。



点灯します。



ABS の故障 ID052

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージにつながる可能性のある特別な状

況についての詳細情報をご確認ください (▶▶ 130)。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

無線キーが受信範囲外

黄色で点灯する。



無線キーの故障 ID060

考えられる原因:


無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。
- 無線キーのバッテリーを交換します。(▶▶ 69)
- 走行を続行するにはスペアキーを使用します。
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失。(▶▶ 68)
- 走行中にチェックコントロールダイアログが表示されても、落ち着いていてください。走行は続行できます。走行スタンバイは OFF になりません。
- 不具合のある無線キーは BMW Motorrad ディーラーに交換を依頼してください。

40 表示

Keyless Ride が故障している

 黄色で点灯する。


 無線キーの故障 ID061


考えられる原因:


Keyless Ride コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- エンジンを停止させないでください。できるかぎり早くBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場をお訪ねください。
- » Keyless Ride を使用してのエンジン始動ができなくなっています。
- » DWA が作動不可になっています。

無線キーのバッテリーを交換する

 黄色で点灯する。


 無線キーバッテリー ID070

 無線キーバッテリー ID071


考えられる原因:

- 無線キーのバッテリー容量が100%ではなくなっています。無線キーの機能は、限られた時間内のみ保証されています。
- 無線キーのバッテリーを交換します。(▶▶ 69)

DWA バッテリーが空になっている

 黄色で点灯する。

 DWA バッテリーの故障 ID080


 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されません。


考えられる原因:

DWA バッテリーが過放電していません。車両バッテリーの接続を外した後、アラームを作動させることはできません。DWA のその他のすべての機能は正常に機能しています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが弱っている

 DWA バッテリー残量低下 ID081

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されません。

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA が故障している

黄色で点灯する。



DWA の故障 ID082

考えられる原因:

DWA コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
- » DWA が ON にならない、または OFF にならなくなっている。
- » 誤警報の可能性がります。

サービス期限

が白で表示されます。

もうすぐサービス期日です ID090

考えられる原因:

走行距離または日付に基づくサービスの実施時期が来ています。

- サービスを定期的に BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場を受けてください。
- » 車両の作動確実性および走行安全性が維持されます。
- » 車両価値の最適な維持が保証されます。

点検日超過

黄色で点灯する。



が黄色で表示されます。

サービス期日を過ぎました ID091

考えられる原因:

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

- サービスを定期的に BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場を受けてください。
- » 車両の作動確実性および走行安全性が維持されます。
- » 車両価値の最適な維持が保証されます。

ライトバルブの故障

黄色で点灯する。



不具合のあるバルブが表示されます ID101-ID131:

- LED 補助ヘッドライト^{0A} 装備
- 補助ヘッドライトの故障(左) ID101<
- LED 補助ヘッドライト^{0A} 装備
- 補助ヘッドライトの故障(右) ID102<
- ポジションライトの故障 ID110
- ロービームの故障 ID112
- ハイビームの故障 ID113
- デイライトの故障 ID114

42 表示

- フロントウインカーの故障(左) ID115、フロントウインカーの故障(右) ID116
- リヤライトの故障 ID121
- ブレーキライトの故障 ID122
- ライセンスプレート灯故障 ID123
- リヤウインカーの故障(左) ID124、リヤウインカーの故障(右) ID125
- HeadLight Pro^{OE} 装備
- アクティブ前照灯の故障 ID130、アクティブ前照灯の故障 ID131<



警告

車両バルブ機能停止による道路交通での車両の見過ごし

安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

考えられる原因:

- ライトバルブの故障
- 目視点検を行い、故障したバルブを検出します。
- LED バルブをアセンブリーで交換します。その交換はBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に依頼してください。

ライトコントロールの故障



黄色で点灯する。



故障している車両照明が表示されますID117/ID126:

- フロント側ライトの故障 ID117
- リヤ側ライトの故障 ID126



警告

市街地走行中にモーターサイクルが車両照明の故障によって見過ごされる

安全に関わる危険

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

車両照明の一部またはすべてが故障しています。

考えられる原因:

ライトコントロールが通信エラーを診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

エンジンコントロールエラー



黄色で点灯する。



エンジンの故障 ID140

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットとの通信が停止しました。

- 走行を続行することは可能です。BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

エンジン制御の重度の故障



赤色で点滅する。



エンジン緊急警告 ID141



警告

緊急時のエンジン損傷のおそれ
事故の危険性があります

- 急加速や追い越しを避け、ゆっくり走行します。
- 可能であれば、誰かに車両を引き取ってもらい、専門ワークショップ、できればBMW Motorrad ディーラーで故障を修理してもらいます。

考えられる原因:

燃料タンクの残量が低すぎるか、エンジンコントロールユニットが故障を診断しました。その結果、重大な故障が発生する恐れがあります。エンジンはエマーゼンシーにあります。

- 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- 給油手順。(111▶ 122)
- BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

駆動システムの故障



点灯または点滅。



駆動システムの故障 ID150

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが、有害物質の排出に影響を及ぼしたり、出力を低減させたりする故障を診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続行することは可能です。ただし、有害物質の排出規定値を超えています。

駆動システムの重大な故障



点滅します。



駆動システムの故障 ID152

44 表示


考えられる原因:


エンジンマネジメントシステムが、エキゾーストシステムの損傷に至るおそれのある故障を診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

» 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

転倒検知センサーが故障している

 黄色で点灯する。


 転倒検知センサーの故障 ID160

考えられる原因:

転倒検知センサーが機能していません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

転倒検知センサーが作動した

 転倒検知センサーが作動しました ID161

考えられる原因:


転倒検知センサーが転倒を検知し、エンジンを停止させました。

- モーターサイクルを真っ直ぐに立て、損傷の有無を点検します。
- イグニッションを OFF にした後、再度 ON にするか、イグニッ


ションキルスイッチを ON にし、再度 OFF にします。

サイドスタンドモニターの機能不良

 黄色で点灯する。

 サイドスタンドの故障 ID170

考えられる原因:


 サイドスタンドスイッチ
または配線が損傷している

最低速度を下回ると、エンジンが停止します。走行を続けることはできません。

min 5 km/h

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

クルーズコントロールの故障
-クルーズコントロール^{OE} 装備

 黄色で点灯する。

 定速制御の故障 ID211

考えられる原因:

コントロールユニットが故障を検知しました。

- クルーズコントロールが使用できないことにご注意ください。
- 走行を続行することは可能です。BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場

に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

車両電装バッテリーのオーバーヒート



黄色で点灯する。



車両電装電圧の異常 ID250

考えられる原因:

温度センサーが車両電装バッテリー内で高温を検知しました。

- 可能であれば、車両電装バッテリーを冷ますためにパーシャルロードで走行するか、またはエンジンを停止させます。
- 車両電装バッテリーが頻繁に高温になる場合には、不具合の修復をできるだけ早くBMW Motorrad ディーラー(最善)または専門の整備工場に依頼してください。

電圧供給における重大なエラー



赤色で点滅する。



車両電装電圧緊急警告 ID251



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。

考えられる原因:

温度センサーが車両電装バッテリー内の温度が限界域にあることを検知しました。または、車両電装システム電圧が高すぎます。エンジンのシャットオフが差し迫っています。

- 直ちに車両を停車させてください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

車両電装システム電圧が限界値



黄色で点灯する。



車両電装電圧が限界域 ID260

車両電装システム電圧が限界値です。車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させています。

考えられる原因:


電流消費量の大きい電装品(ヒーター機能付きベストなど)が使用されている、多くの電装品が同時に使用されている、またはバッテリーの故障。


- 不要な電装品を OFF にするか、車両電装システムから外してください。
- 不具合がまだ生じるか、接続されている電装品がなくても発生する場合には、できる限り早くBMW Motorrad ディーラー(最

46 表示

適) または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

ボードエレクトリック電源電圧が低い

 黄色で点灯する。

 車両電装電圧が低い ID261


考えられる原因:

バッテリー電圧が低すぎます。

- バッテリーを充電します。
(▶▶▶ 166)

バッテリー電圧が限界域

 赤色で点灯する。

 12 V 充電電圧が限界域 ID270

警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。

バッテリーが充電されていません。車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させています。

考えられる原因:


オルタネーターの機能不良、バッテリーの不具合、またはヒューズの溶断。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、でき

るかぎり早く故障の修理を依頼してください。

エンジン温度が高い

 黄色で点灯する。

 エンジンの過熱 ID290

重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷


- 必ず下記の処置を順守してください。

考えられる原因:

温度センサーがエンジン内の高温を検知しました。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行します。
- エンジン温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に修理を依頼してください。

エンジンオーバーヒート

 赤色で点灯する。

 エンジン過熱緊急警告 ID291

**重要事項****オーバーヒートしているエンジンでの走行****エンジンの損傷**

- 必ず下記の処置を順守してください。

考えられる原因:

エンジンがオーバーヒートしています。

- 慎重に停車し、エンジンが冷めた状態になるまで、エンジンを止めておいてください。
- エンジンが頻繁にオーバーヒートする場合には、できる限り早く、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

タイヤ空気圧が許容限界域にある

-タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備



黄色で点灯する。



タイヤ空気圧 ID301

考えられる原因:

測定されたタイヤ空気圧が許容限界域にあります。

- タイヤ充填圧を調整します。
- タイヤ空気圧の調整を行う前に、温度補正および空気圧調整

に関する情報を「技術情報」の章で確認し、遵守してください:

- » 温度補正 (▶▶▶ 137)
- » 充填圧の調整 (▶▶▶ 138)
- » 規定タイヤ空気圧は、以下の箇所に記載されています:
-Rider's Manual の裏表紙面
-タイヤ空気圧表

タイヤ空気圧が許容範囲外にある

-タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備



赤色で点滅する。



RDC 緊急警告 ID302, ID303

**警告****タイヤ空気圧が許容範囲外にある。**

事故の危険、車両の走行特性の悪化。

- ドライビングスタイルを状況に合わせてます。

考えられる原因:

測定されたタイヤ空気圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態か点検します。タイヤがまだ走行できる状態の場合:
- できるだけ早く、タイヤ空気圧を修正します。

48 表示

- タイヤ空気圧の調整を行う前に、温度補正および空気圧調整に関する情報を「技術情報」の章で確認し、遵守してください：

» 温度補正 (▶▶▶ 137)

» 充填圧の調整 (▶▶▶ 138)

» 規定タイヤ空気圧は、以下の箇所に記載されています：

- Rider's Manual の裏表紙面

- タイヤ空気圧表

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の修理工場に、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。


タイヤの走行可能性が確実でない場合：

- 走行を続けしないでください。
- エマージェンシーサービスに知らせます。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)が故障している

- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

 黄色で点灯する。

 RDC の故障 ID304

考えられる原因：


RDC コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。


- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
- » タイヤ空気圧警告を使用不可。

タイヤ空気圧センサーのバッテリーが弱っている

- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

 黄色で点灯する。

 RDC バッテリーの故障 ID310

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。


考えられる原因：

タイヤ空気圧センサーのバッテリー容量が 100% ではなくなっています。タイヤ空気圧コントロールの機能が保証されるのは、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

フューエルリザーブ容量に達している

 黄色で点灯する。

 および走行距離計 KM R または MI R が表示されます。

**警告**

**燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止
触媒コンバーターの損傷、事故
を起こす危険**

- フューエルタンクを空にしないでください。

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。



フューエルリザーブ容量

約 4 l

- 給油手順。(111→ 122)

フューエルリザーブ容量

燃料残量警告灯が点灯する際の燃料タンク内にある燃料の量は、走行ダイナミクスによって変化します。燃料が燃料タンク内で激しく揺れるほど(頻繁な傾斜の変化、頻繁なブレーキ操作および加速)、燃料の量を特定することが難しくなります。この理由から、燃料残量を正確に表示することはできません。



燃料残量警告灯とともに、これまでに燃料リザーブ容量で走行した走行距離KM RまたはMI Rが表示されます。このフューエルリザーブ容量で

走行できる距離は、走行スタイル(燃費)と警告灯の点灯時点で残っていた燃料の量に左右されます。

燃料補給後にフューエルレベルがフューエルリザーブ容量より高くなっている場合には、フューエルリザーブ容量用の走行距離計はリセットされます。

盗難防止

黄色で点灯する。



盗難防止 ID340

考えられる原因:

メーターパネルのシリアル番号がコントロールユニットに登録されているシリアル番号と一致しません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

サービス表示


サービスの実施までの期間が1か月以内になると、サービスの

50 表示

アイコン 1 とサービス時期 2 が表示されます。サービスデータはメニューSETUP、サービスからも呼び出すことができます。



行距離 1 が表示されます。サービスデータはメニューSETUP、サービスからも呼び出すことができます。◀

 サービス期日まで 1 か月以上あるにもかかわらずサービス表示が表示される場合、メーターパネルに登録されている日付を調整する必要があります。車両のバッテリーが外されていた場合に、この状況になる可能性があります。

サービスの実施までの距離が 1000 km 以内になると、サービスのアイコン 1 と残りの走行距離 2 が表示され、100 mi/km 単位で減少していきます。サービスデータはメニューSETUP、サービスからも呼び出すことができます。



-Digital Display^{OE} 装備

次回サービスまでの期間が 1 か月以内になるか、次回サービスまでの距離が 1000 km 以内になると、サービス期日 2 または残余走

メーターパネル

04

警告	54
操作エレメント	54
操作	56
SETUP	61
ディスプレイ	62
設定	63

54 メーターパネル

警告



警告

走行中のスマートフォンの操作事故の危険性があります

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中にスマートフォンは使用しないでください。ハンズフリーユニットによる電話など、操作なしの使用は例外となります。



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

一部の機能は静止しているときにのみ操作できます。

操作エレメント

ロッカースイッチ



ロッカースイッチ 1 上側を短押しする：

- 前の項目に戻る
- 設定を行う

ロッカースイッチ 1 上側を長押しする：

- 前の階層に戻る
- Digital Display^{OE} 装備
- PURE RIDE 画面を終了する

ロッカースイッチ 1 下側を短押しする：

- 次の項目を表示する
- 設定を行う

ロッカースイッチ 1 下側を長押しする：

- 選択を確定する
- オンボードコンピューター内：
値をリセットする

- Digital Display^{OE} 装備
- スタート画面：PURE RIDE 画面
を呼び出す

58 メーターパネル


ディスプレイの表示を選択する


-Digital Display^{OE} 装備




- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
- » スタート画面が表示されます。
- ロッカースイッチ **1** を繰り返し短押しし、ご希望の値 **2** を表示させます。


可能な表示：


 オドメーター


 トリップメーター 1


 オートトリップメーターは、イグニッション OFF 後に 6 時間以上経過し、日付が変

わった場合に、自動的にリセットされます。


 平均燃費

 平均速度

 エンジン(モーター) 温度

 車両電装システム電圧

-タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備

 タイヤ空気圧<

60 メーターパネル

オンボードコンピューターをリセットする

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)



- ロッカースイッチ **1** を繰り返し短押しし、リセットする値を表示させます。
 - ロッカースイッチ **1** 下側を長押しし、選択された値をリセットします。
- » 下記の値をリセットすることができます。
- トリップメーター距離
 - 平均燃費
 - 平均速度

SETUP

SETUP 選択

前提条件

モーターサイクルが停車していること。




- ロックースイッチ **1** を繰り返し短押しし、SETUP を表示させます。
- ロックースイッチ **1** 下側を長押しし、SETUP を呼び出します。
- ロックースイッチ **1** を短押しし、以下のメニューを選択します：
 - 車両
 - システム
 - 表示
 - サービス
 - リセット
 - 戻る
- ロックースイッチ **1** 下側を長押しし、ご希望のメニューを呼び出します。

SETUP を終了します



- **1** ロックースイッチ上側を長押しします。
 - » SETUP が表示されます。
 - » 設定が保存されました。
- またはその代わりに、ロックースイッチ **1** を繰り返し短押しし、戻る を表示させます。
- **1** ロックースイッチ下側を長押しします。
 - » SETUP が表示されます。
 - » 設定が保存されました。
- またはその代わりに、イグニッションを OFF にし、再び ON にします。
 - » SETUP は設定を保存せずに終了します。
- またはその代わりに、発進します。

 SETUP における操作のための速度

max 10 km/h

- » 操作のための許容速度を超過すると、SETUP は設定を保存せずに終了します。


62 メーターパネル

SETUP をリセットする

- イグニッションを ON にします。
- SETUP を選択します。(▶▶▶ 61)



- ロッカースイッチ **1** を短押しし、リセットを表示させます。
- ロッカースイッチ **1** 下側を長押しすると、SETUP がリセットされます。

 SETUP RESET 機能を使用すると、日付と時刻も標準値にリセットされます。

- SETUP を終了します。(▶▶▶ 61)

ディスプレイ

オンボードコンピューターの表示を設定する

前提条件

モーターサイクルが停車していること。

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)

-Digital Display^{OE} 非装備

- メニューSETUP、表示 を呼び出し、メニュー項目OBC を選択します。

以下の表示が非アクティブになります：

- TRIP 1: トリップメーター 1
- TRIP A: オートトリップメーターは、イグニッション OFF 後に 6 時間以上経過し、日付が変わった場合に、自動的にリセットされます。
- 平均燃費: 平均燃費
- 平均速度: 平均速度
- エンジン: エンジン(モーター) 温度
- バッテリー: 車両電装システム電圧
- タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備
- RDC: タイヤ空気圧<
- RPM: 回転数
- 周囲温度: 外気温度
- 時計: 時刻<

-Digital Display^{OE} 装備

- メニューSETUP、表示 を呼び出し、メニュー項目BC を選択します。

以下の表示が非アクティブになります：

- Trip 1: トリップメーター 1
- Trip A: オートトリップメーターは、イグニッション OFF 後に 6 時間以上経過し、日付が変

わった場合に、自動的にリセットされます。

- 燃費: 平均燃費
- 速度: 平均速度
- クーラント温度
- 車両電装電圧
- タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備
- タイヤ空気圧: タイヤ空気圧<
- 外気温度
- 時刻<

ディスプレイの明るさを調整する

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
- メニューSETUP、表示 を呼び出し、メニュー項目明るさ を選択します。
- ディスプレイの明るさを調整します。

設定

システム設定を行う

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
- メニューSETUP、システム を呼び出します。
- システム設定を選択します。
- Digital Display^{OE} 非装備
- » 以下のシステム設定を行うことができます :
- 日付時刻: 日付および時刻を設定します。
- 言語: 言語を設定します。
- 単位: 単位を設定します。<

- Digital Display^{OE} 非装備
- ConnectedRide Control^{OE} 装備
- » さらに :
- CONNECT.: Bluetooth を ON または OFF にします。<
- Digital Display^{OE} 装備
- » 以下のシステム設定を行うことができます :
- 日付&時刻: 日付および時刻を設定します。
- 言語: 言語を設定します。
- 単位: 単位を設定します。<
- Digital Display^{OE} 装備
- ConnectedRide Control^{OE} 装備
- » さらに :
- 接続: Bluetooth を ON または OFF にします。<

取扱方法

05

ステアリングロック	66
イグニッション	67
イグニッションキルスイッチ	71
照明	72
盗難警報装置(DWA)	75
ダイナミックトラクションコントロール(DTC)	78
走行モード	79
クルーズコントロール	81
HILL START CONTROL PRO (HSC PRO)	84
タイヤ空気圧コントロール(RDC)	86
グリップヒーター	86
CONNECTEDRIDE CONTROL	87
シート	90

66 取扱方法

ステアリングロック

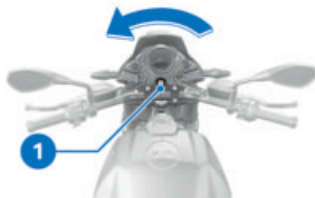
ステアリングロックをロックする



警告

ステアリングロックによるハンドルバーアングルの制限
転倒の危険

- 走行開始前に、ステアリングロックをロック解除します。
- 走行開始前に、車両キーをステアリングロックから取り外します。



- ハンドルバーを左方向へ回し、車両キーをステアリングロック 1 に差し込みます。



- 車両キー 2 をステアリングロック内で反時計回り 3 に回します。
- ステアリングロックを車両キー 2 を使用して押し込み 4、そのまま保持します。
- 車両キー 2 を時計回り 5 に回します。
- » ステアリングロックはロック状態です。
- 車両キー 2 を抜き取ります。

ステアリングロックを解除する



- 車両キー 2 をステアリングロックに押し込み 4、反時計回り 3 に回します。
- » ステアリングロックはロック解除された状態です。


- 車両キー 2 を時計回り 5 に回します。
- 車両キー 2 を抜き取ります。

イグニッション

無線キー

このモーターサイクルには1本の無線キーと1本のスペアキーが付属しています。キーを紛失した場合は、電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS) (▶▶ 71) に関する注意事項を確認し、遵守してください。

イグニッションおよび必要に応じて盗難警報装置を、無線キーを使用して制御します。ステアリングロックおよびタンクキャップは手動で操作します。

 無線キーの検知範囲を超過している場合、モーターサイクルを始動させることはできません。

無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、イグニッションが約 90 秒後に OFF になります。



Keyless Ride の走行可能
距離無線キー

約 1 m

接続ステータスは、イグニッション ON の後 (▶▶ 68)、メーターパネルのインジケータを使用して表示されます。



-Digital Display^{OE} 装備



◁

- インジケータ 1 が点滅する：無線キーが検索されています。
- インジケータ 1 が点灯する：無線キーまたはスペアキーが検知されませんでした。
- インジケータ 1 がゆっくりと点滅する：無線キーが承認されませんでした。無線キーを動かして、イグニッションを再度 ON にします (▶▶ 68)。
- インジケータ 1 が消灯：無線キーまたはスペアキーが検出され、承認されました。

68 取扱方法

イグニッションを ON にする 前提条件

無線キーが承認されていること。



- ボタン **1** を押します。
スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- エンジンを始動することができます。

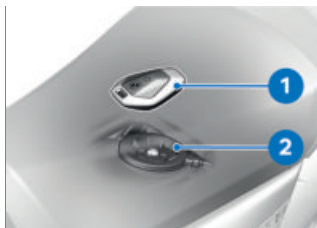
イグニッションを OFF にする 前提条件

無線キーが承認されていること。




- ボタン **1** を押します。
» ライトおよびすべての機能回路が OFF の状態です。


無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失



- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー(エンジン始動ロックシステム) (EWS) に関する注意事項を確認し、遵守してください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。
- 無線キーのバッテリーが空になっている場合、無線キーを折りたたんでシート下のリングアンテナの中に潜り込ませれば、車両を始動させることができます。
- シートを取り外します。(▶▶ 90)
- スペアキーまたはバッテリーが空になって折りたたんだ無線キー **1** を、リングアンテナ **2** に潜り込ませます。

 エマージェンシーキーまたはバッテリーが空になった無線キーを折りたたんで、リン

グアンテナの開口部に**潜り込ま**せる必要があります。

 エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

- » Pre-Ride-Check が実行されま
- す。
- キーが検知されました。
- エンジンを始動することができ
- ます。
- エンジンを始動させます。
- (▶▶▶ 114)
- シートを取り付けま
- す。(▶▶▶ 91)

無線キーのバッテリー電圧を点検する



無線キーのバッテリー電圧は LED 2 の色を介して表示されま

- す。
- ボタン 1 を押します。
- » LED が緑色で点灯：バッテリー電圧は正常

- » LED がオレンジ色で点灯：バッテリー電圧が低い
- » LED が赤色で点灯：バッテリー電圧が限界域

LED が赤色で点灯する場合には、無線キーのバッテリーを交換する必要があります。

- 無線キーのバッテリーを交換します。(▶▶▶ 69)

無線キーのバッテリーを交換する

- ボタンを短押ししても長押ししても、無線キーが反応しない：
- 無線キーのバッテリー容量が充分ではありません。
- ID070 が表示されます。

70 取扱方法

危険

バッテリーを飲み込んだ場合
負傷のおそれや生命にかかわる危険

- 車両キーにはバッテリーとしてボタン電池が含まれています。バッテリーまたはボタン電池が飲み込まれると、体内の炎症や化学熱傷などにより、2時間以内に重態に陥ったり、致命傷を負うことになるおそれがあります。
- 車両キーおよびバッテリーは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーやボタン電池を飲み込んだ疑いや、それらが体内にある疑いがある場合には、直ちに医師に連絡してください。

- バッテリーを交換します。




- ボタン **1** を押します。
» キーが開きます。

- バッテリーカバー **2** を押し上げます。
- バッテリー **3** を取り外します。
- 使用済みバッテリーは法規に従って廃棄処分してください。バッテリーを家庭ごみとして捨てないでください。

重要事項

不適切なバッテリー、または入れ方が正しくないバッテリー
コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
- バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。
- 新しいバッテリーをプラスターミナルを上にして組み込みます。

 バッテリータイプ


Keyless Ride 無線キー

CR 2032

- バッテリーカバー **2** を取り付けます。
» メーターパネルのインジケーター／警告灯が点滅します。
» 無線キーは再び機能することができます。

電子式イモビライザー(EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションスイッチ/ステアリングロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。

 その他の車両キー(スペアキーなど)が始動に使用されている車両キーと一緒に取り付けられていると、電子システムが「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。ディスプレイに警告がキーのアイコンと共に表示されます。

始動に使用する車両キーとその他の車両キー(スペアキーなど)は必ず別々に保管してください。

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンやモーターを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

イグニッションキルスイッチ



- 1 イグニッションキルスイッチ

警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる転倒の危険


- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。

イグニッションキルスイッチにより、エンジンを素早く簡単に停止させることができます。

72 取扱方法




- A エンジン停止
B 通常の操作ポジション

 エンジンは、通常の操作ポジションでのみ始動できます。

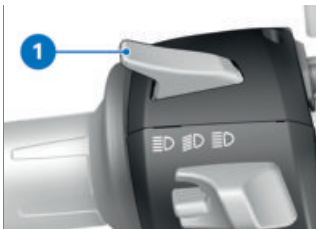
照明

ポジション／パーキングライト
イグニッションを ON にすると、ポジション／パーキングライトは自動的に点灯します。

 ポジション／パーキングライトはバッテリーを消耗させます。イグニッションは必要な場合に限られた時間内でのみ使用するようになっています。

ロービーム

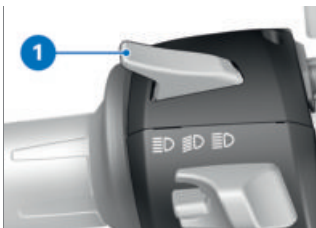
- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
- エンジンを始動させます。(▶▶▶ 114)



- またはその代わりに、イグニッション ON の状態でスイッチ 1 を引きます。

ハイビームとパッシングライト

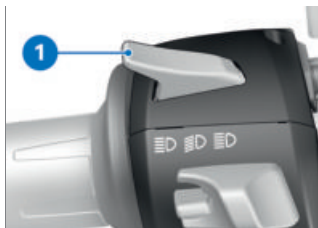
- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)



- スイッチ 1 を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ 1 を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォローミーホームライト

- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 68)



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ **1** を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。
 » 車両照明が1分間点灯し、自動的に再び消灯します。
 -これは、駐車後に家のドアまでの通路を照らすためなどに使用することができます。

パーキングライト

- イグニッションをOFFにします。(▶▶▶ 68)




- イグニッションをOFFにした直後、パーキングライトがONになるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。

- パーキングライトをOFFにするため、イグニッションをONにしてから再びOFFにします。

補助ヘッドライト


-LED 補助ヘッドライト^{0A} 装備

 補助ヘッドライトはフロントフォグライトとしての認可を受けており、使用が許可されるのは悪天候下に限られます。各国特有の道路交通規則を遵守してください。

- エンジンを始動させます。
 (▶▶▶ 114)




- ボタン **1** を押し、補助ヘッドライトをONにします。

 補助ヘッドライトの表示灯が点灯します。

- ボタン **1** を再度押し、補助ヘッドライトをOFFにします。

オートマチックデイライト

 デイライトとロービームの切り替え(フロントポジション/パーキングライトを含む)は自動で行われます。

74 取扱方法

警告

オートマチックデイルイトは照明状況について自身で下す判断に代わるものではない事故が起こる危険


- 照明状況がよくない場合には、オートマチックデイルイトを OFF にします。

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)

-Digital Display^{OE} 非装備

- メニューSETUP、車両、ライトで、機能自動を ON にします。


▶▶ 周囲輝度が特定の値を下回ると、自動的にロービームが ON になります(例えば、トンネルの中)。十分な周囲輝度が検知されると、デイルイトは再度 ON になります。

 デイルイトが ON の場合には、デイルイト用インジケーターが点灯します。◀


-Digital Display^{OE} 装備


- メニューSETUP、車両、照明で、機能自動を ON にします。

▶▶ 周囲輝度が特定の値を下回ると、自動的にロービームが ON になります(例えば、トンネルの中)。十分な周囲輝度が検知されると、デイルイトは再度 ON になります。

 デイルイトが ON の場合には、デイルイト用インジケーターが点灯します。◀

ハザードランプ

 ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードフラッシャーは限られた時間のみオンにしてください。

 ハザードランプが ON の状態で片方のウインカースイッチを押すと、押し続けている間はハザードランプ機能に代わってウインカー機能が作動します。ウインカースイッチを押すのをやめると、再びハザードランプ機能が作動します。

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)



- ハザードフラッシャーを ON するには、ボタン 1 を操作します。

▶▶ イグニッションを OFF にすることができます。

- ハザードランプを OFF にするには、イグニッションを ON にし、ボタン **1** を再度操作します。

ウインカー

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
- Digital Display^{OE} 非装備
- メニューSETUP、車両、ライト を呼び出します。
- 3 回点滅 を ON または OFF にします。◁
- Digital Display^{OE} 装備
- メニューSETUP、車両、照明 を呼び出します。
- コンフォートウインカー を ON または OFF にします。◁



- ボタン **1** を左または右に押し、ウインカーが ON になります。
- ▶▶▶ コンフォートウインカーが ON の場合には、車速に応じた走行距離に達すると、ウインカーは自動的に OFF になります。
- またはその代わりに、ボタン **1** を押し、ウインカーが OFF になります。

盗難警報装置(DWA)

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

自動作動

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
- DWA を調整します。(▶▶▶ 78)
- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 68)
- Digital Display^{OE} 非装備
- ▶▶▶ 自動DWA が有効の場合には、イグニッションをオフにした後にDWA は自動的に有効になります。◁
- Digital Display^{OE} 装備
- ▶▶▶ 自動DWA が有効の場合には、イグニッションをオフにした後にDWA は自動的に有効になります。◁
- ▶▶▶ 設定には約 30 秒かかります。
- ウインカーが 2 回点灯します。
- ▶▶▶ 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- ▶▶▶ DWA は ON の状態です。

76 取扱方法

無線キーによる有効化



- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 68)
- 無線キーのボタン **1** を 1 回押しします。
 - ▶▶ 有効化には約 30 秒かかります。
 - ▶▶ ウィンカーが 2 回点灯します。
 - ▶▶ 操作音が 2 回鳴ります(有効にされている場合)。
 - ▶▶ DWA は ON の状態です。

輸送モードを有効にします

- モーターサイクルを列車またはトレーラーで輸送すると、激しい動きによってアラームが作動することがあります。輸送モードを有効にするには、有効化段階中に無線キーのボタン **1** を再度押しします。
 - Digital Display^{OE} 非装備
 - または、輸送モードをメニュー -SETUP、車両、DWA、輸送 で有効にすることができます (▶▶▶ 78)。

▶▶ ウィンカーが 3 回点灯します。

- ▶▶ 確認音が 3 回鳴ります (有効化されている場合)。
- ▶▶ 輸送モードが有効になっていません。◀

-Digital Display^{OE} 装備

- または、輸送モードをメニュー -SETUP、車両、盗難警報装置 (DWA)、輸送モード で有効にすることができます (▶▶▶ 78)。
 - ▶▶ ウィンカーが 3 回点灯します。
 - ▶▶ 確認音が 3 回鳴ります (有効化されている場合)。
 - ▶▶ 輸送モードが有効になっていません。◀

アラーム信号

DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- DWA を車両バッテリーから切り離す(DWA バッテリーが電源供給を行う。アラーム音のみ、ウィンカーの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合には、車両バッテリーから接続が切り離されている場合に行われるアラームの発報ができなくなる以外は、全機能が保持されています。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類は調整することができます。(▶▶ 78)



発報しているアラームは、無線キーのボタン 1 を押すことで中断できます(DWA の作動解除不要)。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

インジケーター／警告灯のライト信号：

- 1 回点滅：モーションセンサー 1
- 2 回点滅：モーションセンサー 2
- 3 回点滅：権限のない車両キーによってイグニッションが ON にされた

- 4 回点滅：DWA の車両バッテリーからの切り離し
- 5 回点滅：モーションセンサー 3

作動解除

- イグニッションを ON にします。(▶▶ 68)



- 無線キーのボタン 1 を 1 回押します。
 - »ウインカーが 1 回点灯します。
 - »操作音が 1 回鳴ります(有効化されている場合)。
 - »DWA は OFF の状態です。
- Digital Display^{OE} 非装備
 - »アラーム機能が無線キーで作動解除され、続いてイグニッションが ON にならない場合には、自動が ON になっている限り、アラーム機能は約 30 秒後に自動的に再び作動します。◁
- Digital Display^{OE} 装備
 - »アラーム機能が無線キーで作動解除され、続いてイグニッションが ON にならない場合には、自動が ON になっている限り、

78 取扱方法

アラーム機能は約 30 秒後に自動的に再び作動します。◁

DWA を調整する

• メニューSETUP、車両、盗難警報装置 (DWA) を呼び出します。

-Digital Display^{OE} 非装備

» 以下の設定が可能です：

-輸送 を ON にする / OFF にする

-信号 を ON にする / OFF にする

-自動 を ON にする / OFF にする

-アラーム音 を調整する◁

-Digital Display^{OE} 装備

» 以下の設定が可能です：

-輸送モード を ON にする / OFF にする

-信号 を ON にする / OFF にする

-自動 を ON にする / OFF にする

-アラーム音 を調整する◁


» 調整方法 (▶▶ 78)

調整方法

-Digital Display^{OE} 非装備

アラーム音：次第に強くなる / 弱くなるタイプまたは断続的なタイプのアラーム音を設定します。

輸送：輸送モードを有効にします。輸送モードでは、車両の傾斜はモニターされなくなります。

 車両の搬送・輸送時には、DWA が作動するのを防ぐため、傾斜センサーを作動解除してください。


信号：DWA ON / OFF 後のウインカーの点灯に、さらに確認アラーム音が加わります。

自動：イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に作動状態にする。

-Digital Display^{OE} 装備

アラーム音：次第に強くなる / 弱くなるタイプまたは断続的なタイプのアラーム音を設定します。

輸送モード：輸送モードを有効にします。輸送モードでは、車両の傾斜はモニターされなくなります。

 車両の搬送・輸送時には、DWA が作動するのを防ぐため、傾斜センサーを作動解除してください。


信号：DWA ON / OFF 後のウインカーの点灯に、さらに確認アラーム音が加わります。

自動：イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に作動状態にする。

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

DTC 機能を OFF にする

• イグニッションを ON にします。(▶▶ 68)

 ダイナミックトラクションコントロール(DTC) は走行中も OFF にすることができます。



- DTC インジケーターおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。



点灯し始めます。

» DTC 機能は OFF の状態です。

DTC 機能を ON にする




- DTC インジケーターおよび警告灯の表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。



消灯します。自己診断が完了していない場合には、点滅し始めます。

» DTC 機能は ON の状態です。

- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

 イグニッションを OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後に DTC インジケーターが点灯する場合には、DTC が故障しています。

min 5 km/h

- トラクションコントロール (DTC) に関する詳しい情報については、「技術情報」の章をご覧ください (▶▶ 131)。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルの使用についてのシナリオを作成しました：

標準装備

- RAIN：雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD：乾いた路面でのライディング。
- ENDURO：ストリートタイヤ装着時のオフロード走行。

-走行モード Pro^{OE} 装備

走行モード Pro を使用

- ENDURO PRO：オフロードタイヤ装着時のオフロード走行。

80 取扱方法

これらの走行モードそれぞれに、ABS、DTC、エンジンプレーキトルレギュレーターならびにスロットルレスポンス用に調整されている設定があります。走行モードに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください (▶▶▶ 134)。

走行モードを選択する

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)

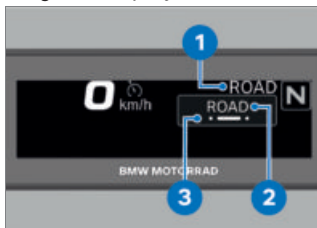


- ボタン 1 を押します。
- Digital Display^{OE} 非装備



有効(アクティブ)な走行モード 1 が表示されます。ガイドサポート 2 に、利用可能な走行モード数が表示されます。◁

-Digital Display^{OE} 装備



アクティブな走行モード 1 がバックグラウンドに移動し、ポップアップ 2 に表示されます。ガイドサポート 3 に、利用可能な走行モード数が表示されま



- ご希望の走行モードが表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し押し続けます。
 - » 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
 - » 走行中に新しい走行モードを ON にするには、以下の前提条件が必要です：
- スロットルグリップがアイドル位置にある。

- ブレーキが操作されていない。
- クルーズコントロール^{OE} 装備
- » さらに：
- クルーズコントロールが OFF の状態。◁
- » 設定された走行モードは、エンジン特性曲線、ABS 制御、DTC 制御も含めて、イグニッション OFF の後も維持されます。

クルーズコントロール

- クルーズコントロール^{OE} 装備

クルーズコントロールを ON にする



警告

不適切な道路状況におけるクルーズコントロールの使用 転倒の危険

- 例えば、雪、氷結、豪雨、オフロード、滑りやすい路面などにより、道路が不適切な状況にある場合には、クルーズコントロールを使用しないでください。
- また、非常にコーナーが多い道路状況で、クルーズコントロールを使用しないでください。




- スイッチ 2 を右方向へスライドさせます。
- » ボタン 1 の操作がロック解除されています。

車速を設定する



- ボタン 1 を前方向へ短押しします。

 クルーズコントロールの調整範囲(ギヤに応じて異なる)

30...180 km/h

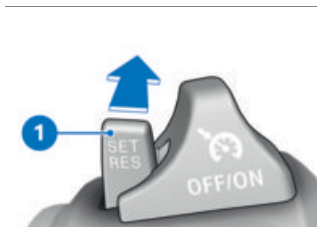


点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

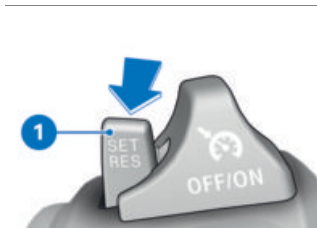
82 取扱方法

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短押しします。
 - » 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ上昇します。
- ボタン **1** を前方へ押し続けます。
 - » 車速が無段階に加速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する





- ボタン **1** を後方へ短押しします。
 - » 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ低下します。


- ボタン **1** を後方へ押し続けます。
 - » 車速が無段階に減速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

- ブレーキを操作するか、またはスロットルグリップを基本位置よりさらに戻すと、クルーズコントロールは作動解除されます。

 クラッチを 1.5 秒以上操作すると、クルーズコントロールは作動解除されます。

 ABS または DTC の介入時には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に作動解除されます。DTC がライダーによって作動解除されると、クルーズコントロールも作動解除されます。

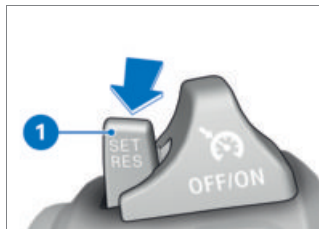
 が非表示になります。

自動作動解除

クルーズコントロールは以下の状況では自動的に作動解除されます：

- 最低回転数を下回った場合(失速防止)。
- 最高エンジン回転数での走行時の数秒後。
- ABS または DTC の介入時。
- システムエラーの場合。

前回の速度を再設定する



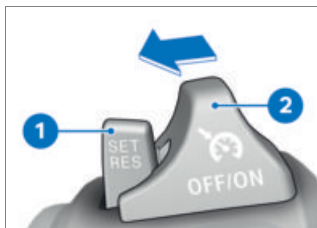
- ボタン 1 を後方へ短押しして、保存されている車速に再び設定します。

i スロットル操作によりクルーズコントロールは短時間オーバーライドされますが、作動解除はされません。スロットルグリップから手を放すと、速度は登録速度まで下がります。さらに速度を落としたい場合には、たとえばブレーキをかけることなどによってクルーズコントロールを作動解除する必要があります。



点灯します。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ 2 を左方向へずらしします。
- » システムは OFF の状態です。
- » ボタン 1 がブロックされています。

クルーズコントロールの特性の環境設定を行う

- イグニッションを ON にします。(▶▶ 68)
- Digital Display^{OE} 非装備
- メニューSETUP、車両 を呼び出し、メニュー項目定速制御 を選択します。
- 希望の設定を選択します。
- » 加速および減速について以下の設定が可能です：
- COMFORT: 車両のバランスのとれた加速および減速。
- DYNAMIC: ダイナミックな走行スタイルのためのよりパワフルな鋭い加速および減速。◀

- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- » 傾斜 3 %以上の場所で車両停止状態から発進する場合に約 1 秒ブレーキ操作をすると、Hill Start Control Pro が自動的に ON になります。
- » 選択した設定は、イグニッションオフ後も維持されます。◁

Hill Start Control Pro を操作する

前提条件

停車状態で、エンジンが作動しています。



重要事項

Hill Start Control の故障

事故の危険性があります

- 手動ブレーキにより、モーターサイクルをしっかりと停車します。



Hill Start Control Pro は上り坂での発進を容易にするための一種のコンフォートシステムであり、パーキングブレーキに代わるものではありません。



上り勾配が 40 %を超える場合には、Hill Start Control Pro を使用しないでください。



- ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。
- またはその代わりに、傾斜 3 %以上の場所で車両停止状態から発進する場合に、約 1 秒ブレーキを操作します。



が短時間表示されます。

-Digital Display^{OE} 装備



が表示されます。◁


» Hill Start Control Pro は ON の状態です。

- Hill Start Control Pro を OFF にするには、ブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを再度操作します。




Hill Start Control Pro をブレーキレバーで OFF にした場合、自動 Hill Start Control がその後の 4 m は OFF の状態になります。


86 取扱方法


 短時間点減します。

-Digital Display^{OE} 装備


 が非表示になります。◁

• またはその代わりに、1速または2速で発進します。

 Hill Start Control Pro を使用して発進するには、発進時にスロットルグリップを操作する必要があります。

 がブレーキの完全解除後に短時間点減します。

-Digital Display^{OE} 装備

 ブレーキが完全に解除された後、非表示になります。◁

» Hill Start Control Pro は OFF の状態です。

• Hill Start Control Pro に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください (▶▶ 140)。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)

-タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備

規定圧警告を ON または OFF にする

• 最低タイヤ空気圧に達すると、規定圧警告が表示されることがあります。

-Digital Display^{OE} 非装備


• メニュー-SETUP、車両 を呼び出します。
• RDC WARN を ON または OFF にします。◁

-Digital Display^{OE} 装備

• メニュー-SETUP、車両 を呼び出します。
• RDC 警告 を ON または OFF にします。◁


グリップヒーター


グリップヒーターが取り付けられていない

 グリップヒーターが装備されていない場合にそのためのボタンを操作すると、この機能は利用できないというメッセージがディスプレイに表示されません。

グリップヒーターの操作

-グリップヒーター^{OE} 装備

 グリップヒーターは、燃焼エンジンが作動しており、サイドスタンドが収納されている場合にのみ作動させることができます。

 低速走行時には、グリップヒーターによって高まった消費電力がバッテリーの放電を招くことがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、スタート特性を保持するために、グ

リップヒーターがオフになります。

- エンジンを始動させます。
(▶▶▶ 114)



- ボタン **1** を繰り返し押し、ご希望のヒーターレベルを表示させます。

-Digital Display^{OE} 非装備

以下の設定が可能です：



ヒーター OFF



ヒーター出力(低)

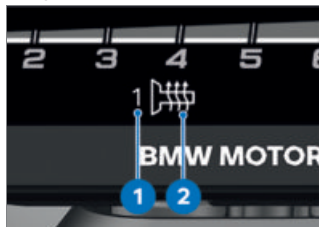


ヒーター出力(中)



ヒーター出力(高) ◀

-Digital Display^{OE} 装備



選択した暖房レベル**1** およびグリップヒーターアイコン **2** がディスプレイに表示されます。◀

- » 高いヒーター出力はグリップを素早く温めるのに役立ちます。その後、低いヒーター出力に戻してください。
- » それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。


CONNECTEDRIDE CONTROL

-ConnectedRide Control^{OE} 装備

Pairing

2つのBluetooth機器間の接続を確立する前に、双方の機器がお互いを認識できている必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスは登録されるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。

88 取扱方法

 iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部のモバイル端末では、使用前にBMW Motorrad Connected アプリを呼び出す必要があります。

ペアリングの際、メーターパネルはその受信範囲内にある他のBluetooth対応機器を検索します。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。

- 当該機器のBluetooth機能がONになっていること
- 当該機器が他から「検知可能」になっていること
- その他のBluetooth対応機器がOFFになっていなければなりません(携帯電話やナビゲーションシステムなど)。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

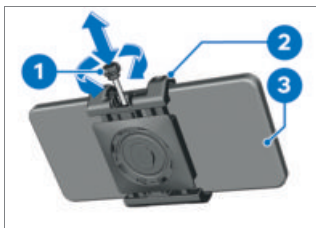
スマートフォンをホルダーに固定する

重要事項

走行中の振動

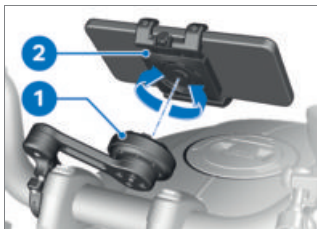
収納されている携帯電話の損傷

- 収納されている携帯電話が当該車両での使用に適していることをご確認ください。それに関する使用制限についてはメーカーにお問い合わせおよびご確認ください。



- アジャストホイール **1** をホルダー **2** から引き出します。
- アジャストノブ **1** を反時計回りに回すと、ホルダー **2** が開きます。
- スマートフォン **3** の中央部をホルダー **2** にセットします。
- アジャストノブ **1** を時計回りに回すと、ホルダー **2** が閉じます。
- » スマートフォンをしっかりとホルダーに据えます。
- アジャストホイール **1** をホルダー **2** に差し込みます。

スマートフォンホルダーを装着する



- スマートフォンホルダー 2 をベースプレート 1 に組み込みます。
- スマートフォンホルダー 2 を 90° 回します。
 »スマートフォンホルダーがベースプレートにかみ合います。
- USB 充電ポートの充電に関する注意事項を確認し、遵守してください (▶▶▶ 175)。

モバイル端末機器を接続する前提条件

モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされています。

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
- メニューSETUP、システム を呼び出します。

-Digital Display^{OE} 非装備

- CONNECT. を呼び出し、BLUETOOTH を ON にします。

- TO PAIR を選択します。
 »モバイル端末の接続のための残り時間が表示されます。◀

-Digital Display^{OE} 装備

- 接続 を呼び出し、Bluetooth を ON にします。
- 新しいデバイスを接続します を選択します。
 »モバイル端末の接続のための残り時間が表示されます。◀

- モバイル端末機器の Bluetooth 機能を ON にします (モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。
- BMW Motorrad Connected アプリ を呼び出します。
- BMW Motorrad Connected アプリで新しいデバイスを接続します。
- デバイスBMW_CR_Control を選択してペアリングします。
 »Bluetooth 接続が確立されます。

-Digital Display^{OE} 装備



が表示されます。◀

- BMW Motorrad Connected アプリは、Multi-Controller を使用して操作することができます (▶▶▶ 90)。

90 取扱方法

Multi-Controller



前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と Bluetooth 経由で接続されていること。

接続されているモバイル端末に BMW Motorrad Connected アプリがインストールされていること。

Multi-Controller 1 を上方向へスクロールする

–リスト内でカーソルを上へ動かします

Multi-Controller 1 を下方向へスクロールする

–リスト内でカーソルを下へ動かします

Multi-Controller 1 を右へ傾ける

–機能に応じてフィードバックが行われます

–選択／設定を確定します

–メニュー画面でスクロールする

Multi-Controller 1 を左へ傾ける

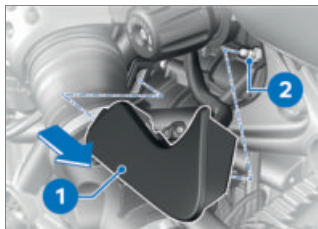
–機能に応じてフィードバックが行われるか、戻ります

–一階層上に切り替えます

–メニュー画面でスクロールする

シート

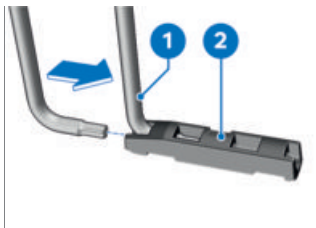
シートを取り外す



- カバー 1 を留め具 2 から外して矢印方向に取り外します。その際、診断コネクターの配線に注意してください。



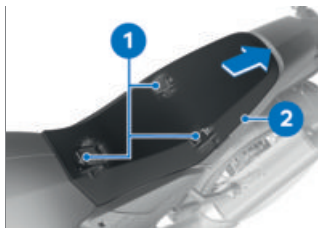
- トルクスレンチ 1 をエクステンション 2 と共にカバー 3 から取り外します。



- トルクスレンチの短い端部 **1** をエクステンション **2** に差し込みます。




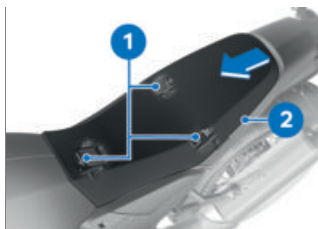
- ラバープラグ **2** を取り外します。
- ボルト **1** をトルクスレンチとエクステンションを使用して取り外します。



- シート **2** を留め具 **1** から引いて取り外します。

シートを取り付ける

 BMW Motorrad では、シート
のラバーシャックルに
BMW ラバー保護などの樹脂を含ま
ない適切な潤滑剤を塗布するこ
とを推奨しています。




- シート **2** を位置決めし、留め具 **1** に差し込みます。

92 取扱方法



- ボルト **1** をトルクスレンチとエクステンションを使用して取り付けます。

 リヤフレーム上のシート

M6 × 25

8 Nm

- ラバープラグ **2** を取り付けます。



- トルクスレンチ **1** をエクステンション **2** と共にカバー **3** に組み込みます。



- カバー **1** を矢印方向にホルダー **2** にはめ、留め具 **3** に押し付けます。その際、診断コネクタの配線に注意してください。

調整

06

ミラー	96
ヘッドライト	96
クラッチ	97
ブレーキ	98
シフト動作	99
ハンドルバー	99
スプリングプリロード	100
ショックアブソーバー	103

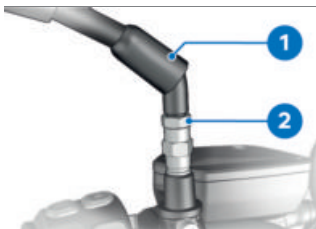
ミラー

ミラーを調整する




- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を緩めます。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットをトルクで締め付けます。

 ミラー (ロックナット) とアダプター

M10 x 1.25

22 Nm (左ネジ)

- 保護キャップ **1** をねじ止め部の上にはずします。


ヘッドライト

右側／左側通行の国でのヘッドライトの調整

このモーターサイクルには対称ロービームが装備されています。モーターサイクルの登録国とは異なる側を走行する国で運転する場合に、特別な措置は必要ありません。

光軸およびスプリングプリロード

積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

 光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、調整の点検をBMW Motorradディーラー(最適)または専門の整備工場に依頼してください。

クラッチ

クラッチレバーを調整する



警告

クラッチフルードリザーバー タンクの位置の変更

クラッチシステム内のエア

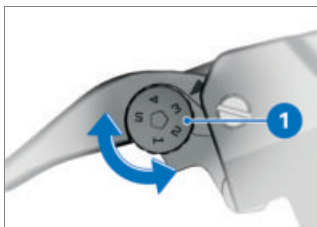
- ハンドルバーフィッティング
またはハンドルバーを回せない。




警告

走行中のクラッチレバーの調整 事故の危険

- クラッチレバーの調整はモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。



- アジャストスクリュー **1** を軽く押して、後方からご希望の位置に回します。

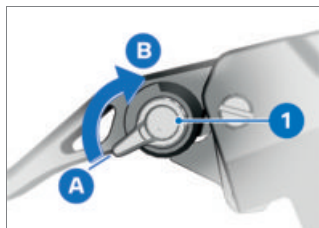
 クラッチレバーを前に向かって押すと、アジャストスクリューをより簡単に回せるようになります。

» 選択できる設定：

- ポジション **1**：ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小

- ~ ポジション **5**：ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

- Option 719 フライス加工部品
パッケージ Shadow II^{OE} 装備



- 調整レバー **1** をご希望の位置に回します。

» 選択できる設定：

- ポジション **A**：ハンドルグリップとクラッチレバー間の間隔は最小。

- ハンドルグリップとクラッチレバー間の間隔を拡大するには、ポジション **B** の方向へ5段階。◀

98 調整

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する



警告

ブレーキフルードタンクの位置の変更

ブレーキシステム内のエア

- ハンドルバーフィッティングまたはハンドルバーを回せない。

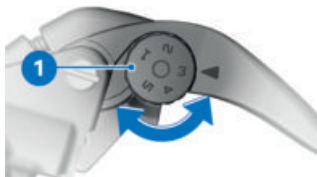


警告

走行中にブレーキレバーを調整する

事故の危険性があります

- ブレーキレバーの調整は、必ず車両を停車させた状態で行ってください。



- アジャストスクリュー **1** を軽く押し、後方からご希望の位置に回します。



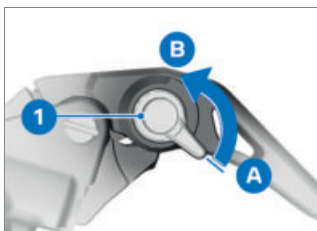
ブレーキレバーを前方へ押すと、アジャストスクリューは簡単に回ります。

» 選択できる設定：

- ポジション 1：ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小

- ~ ポジション 5：ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

- Option 719 フライス加工部品
パッケージShadow II^{OE} 装備



- 調整レバー **1** をご希望の位置に回します。

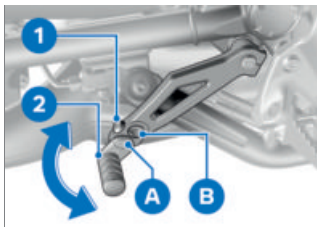
» 選択できる設定：

- ポジション **A**：ハンドルグリップとブレーキレバー間の間隔は最小。

- ハンドルグリップとブレーキレバー間の間隔を拡大するには、**B** 方向に 5 段階で設定します。◁

シフト動作

シフトレバーを調整する



- ボルト 1 を緩めます。
- ステップパーツ 2 をサポート A または B に取り付けます。
- サイドステップ 2 を任意のポジションに回します。

i ステップパーツの調整が高すぎる、または低すぎると、シフト動作時に問題が生じる可能性があります。シフト動作に問題が生じた場合は、ステップパーツの調整を点検します。

- ボルト 1 をトルクで締め付けます。

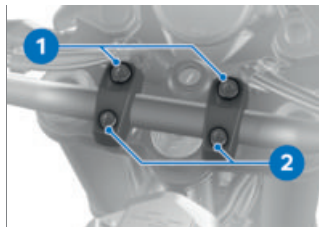
 ステップパーツとシフトレバー

M6 x 25

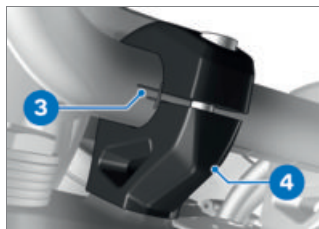
8 Nm

ハンドルバー

ハンドルを調整する

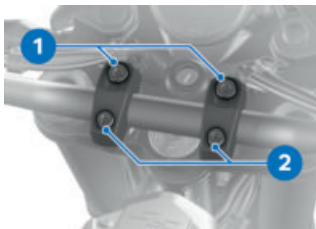


- ボルト 1 および 2 を緩めます。
- » ハンドルバーは調整可能です。




- ハンドルバーは、マーク 3 範囲で傾きを調整することができます。その際、マークライン 3 をハンドルバーブリッジ 4 上端に合わせます。

100 調整



- ボルト 1 を締め付けます。

 クランプ台 (ハンドル
パークランプ) とフォークブリッジ


締め付け順序: 進行方向の前の
ブロックで締め付けます

M8 × 35

24 Nm

- » クランプ台はフロントのブロックに取り付けます。

- ボルト 2 を締め付けます。

 クランプ台 (ハンドル
パークランプ) とフォークブリッジ

締め付け順序: 進行方向の前の
ブロックで締め付けます

M8 × 35

24 Nm

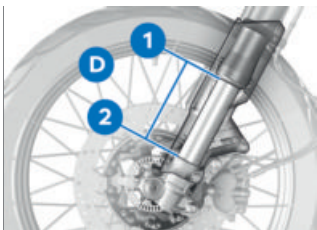
スプリングプリロード

フロントホイールでの調整

フロントホイールのスプリングプリロードを、ライダーの体重に合わせて調整してください。重量が重ければスプリングプリロードをより高く、軽ければスプリングプリロードをより低くする必要があります。


フロントホイールのスプリングプリロードを調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、フロントホイールにかかる荷重を完全に解除します。




- 1 と 2 間の距離 D を測定します。
- エンジンジャッキを取り外します。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

- モーターサイクルにライダーが乗車して負荷をかけます。
- もう1人に協力してもらいながら、間隔 **D** (ポイント **1** と **2** の間) を再度測定し、測定値同士の差(沈み込み量)を算出します。

 負荷に応じたスプリング
プリロードの設定

フロントホイールの沈み込み

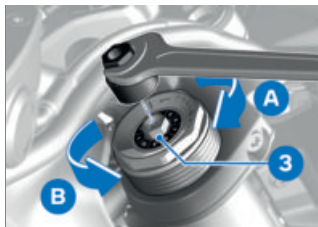
59 mm (ライダー乗車時 95 kg)

 フロントスプリングプリ
ロードの基本調整

ストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに5回転回します(満タン状態、ライダー約 95 kg を含む)

ストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに6回転回します(1名乗車+荷物積載(約 105 kg))

ストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに13回転回します(2名乗車+荷物積載(約 165 kg))




警告

スプリングプリロードとフロントフォークダンピングの調整が適合していない。


走行特性の悪化。

- フロントフォークダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。
- 沈み込み量を減らす(スプリングプリロードを高める)には、車載ツールキットを使用して調整ボルト **3** を **A** の方向に回します。ぴたりと合い、スクリューを擦り傷から保護するアダプターが車載ツールキットに添えられています。
- 沈み込み量を増やす(スプリングプリロードを低める)には、車載ツールキットを使用して調整ボルト **3** を **B** の方向に回します。ぴたりと合い、スクリューを擦り傷から保護するアダプターが車載ツールキットに添えられています。

102 調整

 両方のフォークストラットでスプリングプリロードを均等に調整します。

• ダンピングを、変更したスプリングプリロードに合わせて調整します。

 サスペンション調整に関する推奨事項について、「仕様(諸元)」の章の「サスペンション」でご確認いただけます。

• フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整します。(▶▶▶ 103)

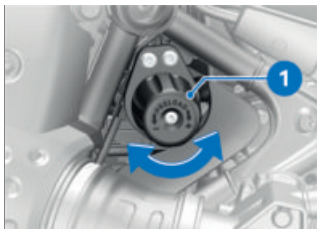
• フロントホイールのリバウンドダンピングを調整します。(▶▶▶ 104)

リヤホイールでの調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

リヤホイールのスプリングプリロードを調整する

• モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

• スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。

• スプリングプリロードを高くするには、アジャストノブ **1** を時計回りに回します。

• スプリングプリロードを低くするには、アジャストノブ **1** を反時計回りに回します。

リアスプリングプリロードの基本調整

ストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに5回転回します(満タン状態、ライダー約95 kgを含む)


ストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに11回転回します(1名乗車+荷物積載(約105 kg))



リアスプリングプリロードの基本調整

ストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに25回転回します(2名乗車+荷物積載(約165kg))

- ダンピングを、変更したスプリングプリロードに合わせて調整します。

 サスペンション調整に関する推奨事項について、「仕様(諸元)」の章の「サスペンション」でご確認いただけます。

- リヤホイールのコンプレッションダンピングを調整します。(▶▶ 105)
- リヤホイールのリバウンドダンピングを調整します。(▶▶ 106)

ショックアブソーバー

ダンパーレスポンスが走行安定性に与える影響

調整の目的は、スプリングプリロード、路面状態、希望する走行特性、蓄積状態に応じてダンパーを調整することです。

コンプレッションステージダンピングの増加

- 直接的な走行特性。
- 路面状態に関するフィードバックの増加。
- 波状路面による快適性の低下。

コンプレッションステージダンピングの減少

- 快適な走行特性。
- 路面状態に関するフィードバックの減少。
- バイブレーションアブソーバーの増加。

リバウンドダンピングの増加

- 直接的な走行特性。
- 路面状態に関するフィードバックの増加。
- バイブレーションアブソーバーの減少。
- 連続した波状路面での快適性の喪失。

リバウンドダンピングの減少

- 快適な走行特性。
- 路面状態に関するフィードバックの減少。
- バイブレーションアブソーバーの増加。


フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整する



- ドライバーのマイナス刃を長い位置に差し込みます。

104 調整

- スクリュードライバーを用意します。(▶▶ 145)
 - コンプレッションダンピングを左フォークストラットのアジャストスクリュー **1** で調整します。
- オフロード走行に関する推奨事項に注意してください：

 コンプレッションステーションの基本設定(フロント)


位置 4 (オフロード走行)



フロントホイールのリバウンドダンピングを調整する



- ダンピングをハードにするには：車載ツールキットを使用して、アジャストスクリューをマーク **1** がより大きい調整値を示すように回します。
 - ダンピングをソフトにするには：車載ツールキットを使用して、アジャストスクリューをマーク **1** がより小さい調整値を示すように回します。
- ドライバーのマイナス刃を長い位置に差し込みます。
 - スクリュードライバーを用意します。(▶▶ 145)
 - リバウンドダンピングを右フォークストラットのアジャストスクリュー **1** を使用して調整します。

 コンプレッションステーションの基本設定(フロント)

ポジション 1 (コンフォート設定、ライダー乗車時 95 kg)

ポジション 5 (ノーマル設定、ライダー乗車時 95 kg)

ポジション 8 (スポーツ設定、ライダー乗車時 95 kg)



- ダンピングをハードにするには：車載ツールキットを使用して、アジャストスクリューをマーク 1 がより大きい調整値を示すように回します。
- ダンピングをソフトにするには：車載ツールキットを使用して、アジャストスクリューをマーク 1 がより小さい調整値を示すように回します。



リバウンドステージの基本設定(フロント)

ポジション1 (コンフォート設定、ライダー乗車時 95 kg)

ポジション5 (ノーマル設定、ライダー乗車時 95 kg)

ポジション8 (スポーツ設定、ライダー乗車時 95 kg)

- オフロード走行に関する推奨事項に注意してください：



リバウンドステージの基本設定(フロント)

位置2(オフロード走行)

フロントホイールの工場設定を調整する

- 工場設定を以下の値に従って調整します。



フロント側コンプレッション/リバウンドステージの工場での設定

ポジション5

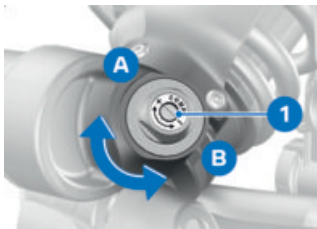
リヤホイールのコンプレッションダンピングを調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- スクリュードライバーを用意します。(▶ 145)
- コンプレッションステージダンピングを、車載ツールキットを使用して調整ボルト1を回して調整します。

106 調整



- コンプレッションステージダンピングを大きくするには：アジャストスクリュー **1** を、ツール(ツールキット)を使用して **A** 方向に回します。
- コンプレッションステージダンピングを小さくするには：アジャストスクリュー **1** を、ツール(ツールキット)を使用して **B** 方向に回します。

コンプレッションステージの基本設定(リヤ)

調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、4 クリック戻します (1名乗車時)

調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、4 クリック戻します (1名乗車時、荷物積載あり)

調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、2 クリック戻します (後席乗車時、荷物積載あり)

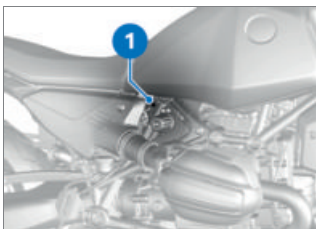
- オフロード走行に関する推奨事項に注意してください：

コンプレッションステージの基本設定(リヤ)

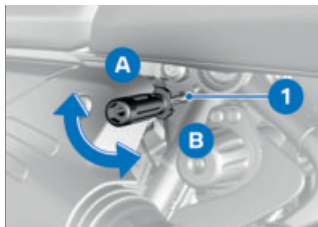
調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、7 クリック戻します(オフロード走行)

リヤホイールのリバウンドダンピングを調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。




- ドライバーのマイナス刃を長い位置に差し込みます。
- スクリュードライバーを用意します。(▶▶ 145)
- リバウンドダンピングを、車載ツールキットを使用して調整ボルト **1** を回して調整します。



- リバウンドダンピングを大きくするには：アジャストスクリュー **1** を、ツール(ツールキット) を使用して **A** 方向に回します。
- リバウンドダンピングを小さくするには：アジャストスクリュー **1** を、ツール(ツールキット) を使用して **B** 方向に回します。

 リバウンドステージの基本設定(リヤ)

調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、4 クリック戻します(オフロード走行)

 スプリングストラットリバウンド状態基本調整

調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、5 クリック戻します (1名乗車時)

調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、4 クリック戻します (1名乗車時、荷物積載あり)

調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回してから、1 クリック戻します (後席乗車時、荷物積載あり)

- オフロード走行に関する推奨事項に注意してください：

走行

07

安全に関する注意事項	110
定期点検	113
始動	114
慣らし走行	115
オフロード走行	116
ギヤシフトアシストPRO	117
ブレーキ	118
駐車	121
給油	121
モーターサイクルを搬送用に固定します	123

110 走行

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着／着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着／着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や季節にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着／着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。



警告

むき出しで動いている車両部品(ホイール、ドライブシャフト)に、荷物、ゆったりと着用した衣服、ベルトなどが巻き込まれる

事故が起こる危険

- むき出しで動いている車両部品に、ゆったりと着用した衣服などが決して巻き込まれることがないようにしてください。
- 荷物やテンションベルト、ラッシングストラップなどは、むき出しで動いている車両部品から離れたところに保持してください。

車両装備



危険

違法なタンデム走行

事故の危険性があります

- タンデム走行できるのは、その車両が法的な要件を満たしている場合に限りです。

荷物の積載



警告

**積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる
転倒の危険**

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。

- 総重量に合わせて、スプリングプリロードの設定、ショックアブソーバーの設定、タイヤ空気圧の調整を行います。

- 総重量に合わせて、タイヤ空気圧の調整を行います。

- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。


-タンクバッグ^{OA} 装備


- タンクバッグの最大積載荷重を確認し、遵守してください (▶▶ 177)。◁

-サイドバッグ付き^{OA}

- リヤバッグの最大積載荷重を確認し、遵守してください (▶▶ 177)。◁

車速

 タイヤの寿命を延ばし、最適な固着を確保するために、冷えたタイヤは入念に暖気運転してください。タイヤが冷えた状態での急加速は避けてください。暖気運転中は、ゆっくりと傾斜角を大きくしてください。

 タイヤの異常過熱を防ぎ寿命を延ばすために、最高速度での長時間の走行は避けてください。

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、車両の走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります。特に以下に気を付けてください：

- サスペンションの調整
- 荷物積載のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ空気圧が低すぎる
- タイヤトレッドの摩耗

ブロックタイヤまたは冬タイヤを装着している場合の最高速度



危険

モーターサイクルの最高速度が、タイヤの許容最高速度を上回る場合

高速すぎる場合、タイヤの損傷による事故の危険があります

- タイヤの許容最高速度を確認し、遵守してください。

ブロックタイヤまたは冬タイヤを装着している場合には、これらのタイヤの許容最高速度を確認し、遵守してください。

許容最高速度を記したステッカーを、メーターパネルの見える位置に貼ってください。

112 走行

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



警告

健康を害するおそれのある排ガス

窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。



警告

健康を損なう蒸気などを吸い込むこと

健康を損なう危険

- フルード類およびプラスチック類から生じる蒸気を吸い込まないでください。
- モーターサイクルは屋外でのみ使用してください。

火傷の危険



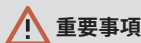
注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 必ず、ヘルメット、ライディングスーツ、グローブおよびブーツを着用してください。
- 走行中も、駐車後も、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。

触媒コンバーター



重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料

触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。

ミスファイアにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。

以下の規定を遵守してください：

- フューエルタンクが空の状態
で走行しない。
- スパークプラグコネクタを外
したままエンジンを作動させな
い。
- ミスファイアが発生した場合
には、ただちにエンジンを停止さ
せる。
- 無鉛ガソリンのみを使用する。
- 指定されているメンテナンス
スケジュールを遵守する。

オーバーヒート



重要事項

長時間のアイドルリング

冷却不足によるオーバーヒー
ト、極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドル
リングしたままにしないでくだ
さい。
- エンジンを始動したら、ただ
ちに発進してください。

改造



重要事項

モーターサイクルの改造(例：
エンジンマネジメントシステ
ム、スロットルバタフライ、ク
ラッチ)

関連するコンポーネントの損
傷、安全に関わる機能の故障、
保証の失効

- いかなる改造も行わないでく
ださい。

定期点検

チェックリストを確認し、遵守す
る

モーターサイクルを定期的に点
検するため、以下のチェックリ
ストを使用してください。

走行開始前に毎回

- ブレーキシステムの機能を点検
します (▶▶▶ 148)。
- 照明および信号装置の機能を点
検します。
- クラッチの機能を点検しま
す (▶▶▶ 153)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点
検します (▶▶▶ 154)。
- タイヤ空気圧を点検しま
す (▶▶▶ 154)。
- 荷物がしっかりと固定されてい
るか点検します。

114 走行

燃料補給 3 回目ごと

- エンジンオイルレベルを点検します (▶▶▶ 146)。
- フロントブレーキパッド厚を点検します (▶▶▶ 148)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します (▶▶▶ 149)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検します (▶▶▶ 151)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検します (▶▶▶ 152)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)
» Pre-Ride-Check (走行前点検) と自己診断を行います。(▶▶▶ 115)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

i サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできますが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。

i 触媒コンバーターを確実に早急に作動可能状態にするため、エンジン始動後にアイドル回転数が短時間高くなります。

- 冷間始動時および気温の低い場合：クラッチを切ります。



- スターターボタン **1** をエンジンが始動するまで押し続けます。

i 低温度ではスタート状態に影響を与える可能性があります。バッテリーに何度か短時間の通電を行うことによりバッテリー温度が上昇し、それに伴ってエンジン始動用に利用可能な出力も上がります。

» エンジンが始動しない場合は、次のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶▶ 192)

始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。

- バッテリーを充電します。

(▶▶▶ 166)

- ジャンプスタート。(▶▶▶ 163)

i バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。

Pre-Ride-Check (走行前点検) と自己診断

イグニッション ON 後、メーターパネルにより表示エレメント、インジケーターおよび警告灯のテストが実行されます。Pre-Ride-Check (走行前点検) 中は、すべてのインジケーター／警告灯が一時的に点灯します。

- » 自己診断は、BMW Motorrad ABS、BMW Motorrad ASC/DTC の機能が使用できる状態にあるかどうかをチェックします。



点滅します。



ゆっくりと点滅します。

- » インジケーター／警告灯は、走行速度 5 km/h に達すると消灯します。
- » 自己診断が完了しました。

自己診断の完了後に、エラーメッセージが表示される場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。



慣らし走行中のエンジン
回転数

<5000 min⁻¹ (走行距離
0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。



最初の慣らし運転までの
走行距離

500...1200 km

ブレーキパッド



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。

116 走行

新しいブレーキパッドの場合には最適な摩擦力に達するまで慣らし運転をする必要があります。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。

新品タイヤの正しい慣らし運転については、タイヤメーカーの情報に従ってください。

警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。

オフロード走行

オフロード走行後

BMW Motorrad はオフロード走行後に以下の点について確認することをお勧めします：

タイヤ空気圧

警告

オフロード走行用に低下させたタイヤ空気圧で舗装路を走行走行特性の悪化により事故を起こす危険。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。

ブレーキ

警告

未舗装路または汚れた道路での走行

ブレーキディスクとブレーキパッドの汚れによるブレーキ作用の遅延

- ブレーキの汚れが落ちるまで、早めにブレーキをかけてください。

⚠ 重要事項

未舗装または汚れた道路での走行

ブレーキパッド摩耗の助長

- ブレーキパッドの厚さを頻繁に点検し、ブレーキパッドを早目に交換してください。

スプリングプリロードおよびショックアブソーバー

⚠ 警告

オフロード走行用に変更したスプリングプリロードとスプリングストラット減衰力の値

舗装路での走行特性の悪化

- オフロードを離れる前に、スプリングプリロードとスプリングストラット減衰力を正しく調整してください。

ホイールリム

BMW Motorradは、オフロード走行後に、ホイールリムが損傷していないか点検することをお勧めします。

エアフィルター

⚠ 重要事項

エアフィルターエレメントの汚れ

エンジンの損傷

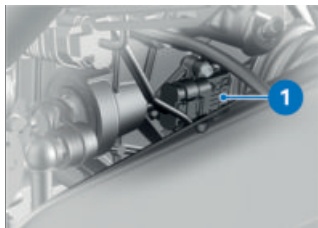
- 埃の多いオフロードで走行する場合には、エアクリーナーの汚れの点検を頻繁に行い、必要に応じて清掃または交換します。

非常に埃の多い条件下での走行(砂漠や乾燥した草原など)においては、専用に開発されたエアクリーナーの使用が必要です。

ギヤシフトアシストPRO

-シフトアシストPro^{OE} 装備

シフトアシストProの機能



- ギヤ入れは、従来と同様に、シフトペダルにかかる踏力で行われます。
- » ギヤシフトアシストはシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするもので

118 走行

あり、シフトアップ／シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。

-オートマチックは関係がありません。

-ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決定します。

-シフトシャフトのセンサー 1 がシフトの希望を検知し、シフトサポートを開始させます。

» 定速走行時および惰性走行中にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでギヤシフトを行うと、過度な荷重移動による反動を招くおそれがあります。BMW Motorrad は、それらの走行状況ではクラッチ操作をしてギヤシフトを行うことをお勧めします。

» 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：

-クラッチが操作されている場合。

-シフトレバーが初期位置にない場合

•ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除します。

•ギヤシフトアシストPro に関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください (▶▶ 138)。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント／リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。減速が強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きな制動力が伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。頻繁にトレーニングされる極端なフルブレーキでは、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完全には路面に伝達できなくなります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Integral ABS Pro によって回避されます。

**警告****急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり****転倒の危険**

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。

ハザードブレーキング

十分な速度で急ブレーキをかけると、ブレーキライトが急速に点滅し、後続の道路利用者に警告します。

その際、<15 km/h まで制動されると、ハザードランプが ON になります。車速が 20 km/h 以上になると、ハザードランプは自動的に再び OFF になります。

下り坂**警告****山道や狭い通路などを抜けるときに強烈なリヤブレーキをかける**

オーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の損失

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。

**危険****異常過熱したブレーキでの走行
ブレーキの機能停止により事故を起こす危険**

- 運転の仕方を状況に合わせてください。
- エンジンブレーキを利用して頻繁にブレーキすることは避けてください。

**警告****メンテナンスインターバルの無視****事故の危険**

- 有効なブレーキのメンテナンスインターバルに注意してください。

濡れて汚れたブレーキ**警告****濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる****事故の危険**

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。

120 走行

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。

ABS Pro

走行における物理的境界



警告

コーナーにおけるブレーキング
ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。

ABS Pro およびDynamic Brake Control がサポートする機能は、Enduro PRO 以外のすべての走行モードで使用することができます。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro およびDynamic Brake Control がライダーのため、バンク時のブレーキングの際に万全のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro およびDynamic Brake Control は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、ABS Pro は走行における物理的境界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。Dynamic Brake Control は緊急ブレーキ時の制動効果を高めると共に、ブレーキ動作中に誤ってスロットルグリップが操作されると介入します。



ABS Pro はバンク時の個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。

駐車

サイドスタンド

- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 68)



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。



重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- ハンドルを左に回します。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

給油

燃料品質

前提条件

最適な燃費となるよう、サルファー(硫黄)フリーの燃料、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。



重要事項

有鉛ガソリンを給油する

触媒コンバーターの損傷

- 有鉛ガソリンや金属添加物(マンガン/鉄など)を含む燃料は決して給油しないでください。

- 燃料に含まれるエタノールの最大比率に注意してください。



ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳細情報については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

122 走行



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン (スーパー) (エタノール 15 %以下、E15)

95 ROZ/RON

90 AKI



燃料品質の選択肢

無鉛レギュラーガソリン (エタノール 15 %以下、E15)

91 ROZ/RON

87 AKI

給油手順



警告

**フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険**

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。



重要事項

コンポーネントの損傷

燃料タンクの過注入によるコンポーネントの損傷

- 燃料タンクに注入し過ぎると、余分な燃料がチャコールフィルターに流入し、そこでコンポーネントの損傷に至ります。
- 燃料タンクへの注入はフィルターネックの下端までにしてください。



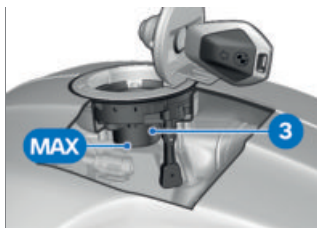
重要事項

プラスチック表面に燃料が付着表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 保護キャップ 2 を開きます。
- フューエルタンクのキャップ 1 を車両キーで時計回りに回してロック解除し、開きます。




- 前述のグレードのフューエルをフィラーネック 3 の下端 (MAX 位置) まで補給します。


i 燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が OFF になります。

i テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足

でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。

 フューエル容量

約 15.5 l

 フューエルリザーブ容量

約 4 l

- フューエルタンクのキャップを強く押して閉めます。
- キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

モーターサイクルを搬送用に固定します

- テンションストラップ(固定用ベルト)が取り回されるすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します。接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください。

124 走行



重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。
- モーターサイクルを搬送用プレートの上に移動させます。サイドスタンドで立てないこと。
- もう1人、サポートできる人と一緒に、モーターサイクルを転倒しないようにしっかりと支えます。

重要事項

コンポーネントの挟み込み

コンポーネントの損傷

- コンポーネント(ブレーキラインやケーブルなど)が挟み込まれないようにしてください。
- フロント側テンションストラップを左右でローフォークブリッジに取り付けて固定します。



- リヤ側テンションストラップ(固定ベルト)をリヤフレームに取り付けてピンと張ります(左右)。

ーパッセンジャーパッケージOE
装備



- 両側でリヤ側テンションストラップをパッセンジャー用フットレストのホルダーに取り付けて固定し、ピンと張ります。◁
 - すべてのテンションストラップ（固定ベルト）を均等にピンと張ります。
- » 車両がしっかりと固定されています。

技術情報

08

一般的な情報	128
アンチロックブレーキシステム(ABS)	128
ダイナミックトラクションコントロール(DTC)	131
エンジンブレーキトルクレギュレーター(MSR)	132
BATTERY GUARD	133
走行モード	134
ダイナミックブレーキコントロール	136
タイヤ空気圧コントロール(RDC)	137
ギヤシフトアシスト	138
HILL START CONTROL PRO (HSC PRO)	139
コーナリングライト	141

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下をご覧ください：bmw-motorrad.com/technik。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント/リヤホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。



重要事項

インテグラル機能があるにもかかわらずバーンアウトを試みるリヤブレーキおよびクラッチの損傷

- バーンアウトを行わないこと。

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、

クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大制動力が限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動して、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。



工場設定では、走行モード ENDURO PRO が ON の場合は、リヤホイール ABS 制御は作動解除されています。

凸凹のある路面で起こることは？

凹凸のある路面によって、タイヤと路面との間の接地が短時間失われることがあります。その場合、伝達可能な制動力がゼロに戻ります。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それにより走行安定性が確保されるよ

う、摩擦係数(砂利、凍結、雪の場合)を非常に低く見積もっています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad Integral ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるでしょうか？

前述の状況により、ABS システムが制動力を制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。

ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに形成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

減速力が著しく強く、かつ、減速が迅速な場合、BMW Motorrad ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。



警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり

転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。

BMW Motorrad ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。

車速が min 4 km/h を越えると、BMW Motorrad ABS は物理的限界内でそれぞれの路面において走行安定性を確保することができます。より低速の場合には、BMW Motorrad ABS はシステム上の制約によりすべての路面では最適にサポートすることができません。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

130 技術情報

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長い時間にわたって正常でない値が検知される場合、安全のためにABS機能が停止し、ABSの故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が完了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABSにおける問題の他に、特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合もあります。

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。
- 長時間のリヤホイールのロック(オフロード走行時など)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS機能は、イグニッションをOFF / ONにすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスはどれほど重要なのでしょうか？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム
事故の危険

- BMW Motorrad ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず順守してください。

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad Integral ABSにより制動距離が短くなるからといって、軽率な走行スタイルをとってはなりません。この装備は、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置です。



警告

コーナーにおけるブレーキング
ABSを装備していても事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。

ABS Pro

ABS Pro は特にコーナリングでのブレーキ動作における安全性を向上させます。ABS Pro は、もちろん急なブレーキ操作時にも、ホイールのロックを防ぎます。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。これらはジャイロセンサーを基にしており、すでにダイナミックトラクションコントロール(DTC) 用に採用されています。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS 制御において均等に圧力調整が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Pro の利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする繊細な応答性、高い制動安定性および走行安定性です。

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

トラクションコントロールはどのように機能するのでしょうか？

トラクションコントロールは、フロントホイールとリアホイールのホイール回転速度を比較します。速度の差から、リアホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジン(モーター) マネジメントシステムがエンジン(モーター) トルクを調整します。ダイナミックトラクションコントロールDTC は傾斜角を考慮し、傾斜角情報および加速情報により、より繊細かつ快適に制御します。

BMW Motorrad DTC は、ライダーおよび公道での走行のためのアシストシステムとして考案されています。特に物理的制限領域では、ライダーがDTC の制御性能に大きな影響を与えます(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を

満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad DTC を OFF にできます。



警告

リスクな走行

DTC 搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的
法則に従って、加速はますます強
く制限されます。このため、非常
にタイトなコーナーでは加速が
低減される場合があります。

一定の時間以上、検出される値が
正常でない場合には、バンク角用
に代替値が使用されるか、DTC が
OFF になります。この場合には、
DTC の不具合が表示されます。エ
ラーメッセージの表示には、自己
診断が完了していることが前提
となります。

次のような、通常とは異なる運転
／走行状態においては、トラク
ションコントロールが自動的に
OFF になる場合があります。

特殊な運転／走行状態：

- 長時間の後輪走行(ウィー
リー)。
- フロントブレーキをかけた際
に、その場で後輪が回転(空転)
(バーンアウト)。
- 補助スタンドを立てたまま、
ニュートラル位置またはギヤを
入れた状態でウォームアップ。

極端な加速中にフロントホイ
ールが接地性を失った場合、フ
ロントホイールが再び地面に接
するまで、DTC は走行モードま
たはDTC 設定に応じてエンジント
ルクを低減させます。

BMW Motorrad は、フロントホイ
ールの浮き上がり時にスロット
ルグリップを少し戻して車両を
できるだけ早く安定した運転/
走行状態に戻すよう、お勧めしま
す。

エンジブレーキトルクレギュ レーター(MSR)

エンジブレーキトルクレギュ レーターはどのように機能す のでしょうか？

エンジブレーキトルクレギュ
レーターは、高いエンジブレー
キトルクによってリヤホイール
で引き起こされる不安定な運転
／走行状態を確実に回避するこ
う役割があります。路面状態
および走行特性によっては、高
すぎるエンジブレーキトルクが

リヤホイールスリップの発生を著しく増大させ、走行安定性が損なわれることがあります。エンジンブレーキトルクレギュレーターは、走行モードに応じた適切で安全なスリップを目指し、リヤホイールのスリップを制限します。

リヤホイールでの過大なスリップの原因：

- 摩擦係数の低い路面での惰性走行(濡れた木の葉の上など)。
- シフトダウン時のリヤホイールホップ。
- スポーツ走行時の激しいブレーキング。

トラクションコントロールDTCと同様に、エンジンブレーキトルクレギュレーターはフロントおよびリヤのホイール回転数を比較します。バンク角に関する追加情報により、エンジンブレーキトルクレギュレーターはリヤホイールのスリップや安定性の余地について割り出します。

スリップが制限値を上回ったら、スロットルバタフライを少し開いてエンジントルクを増大させます。スリップが軽減され、モーターサイクルが安定します。

BATTERY GUARD

Battery Guard とは何でしょう？

Battery Guard はバッテリー充電レベルまたはバッテリー電圧を監視します。Battery Guard を使用することにより、バッテリーが低充電状態に陥らずにすむようになり、必要に応じて再充電も可能になります。

Battery Guard はどのように機能するのでしょうか？

車両がOFFになっていると、充電レベルまたはバッテリーの電圧が1日1回点検されます。低すぎる値が確認されると、イグニッションをONにしたときに警告メッセージが表示されます。

BMW Motorrad Teleservices の利用可能性に応じて、警告メッセージを電子的な通知方法を使用して伝送することもできます。BMW Motorrad Teleservices に関する詳細情報については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

Battery Guard は数段階で反応します：

- **充電レベルがわずか**：12 V ソケットが有効になります。接続されている充電器がバッテリーを再び充電することができます。

134 技術情報

BMW Motorrad Teleservices との組み合わせによる：

- 充電レベルが低い：3日ごとに、バッテリーの充電を求める警告メッセージが送信されます。
- 充電レベルが限界値：毎日、バッテリーの充電を求める警告メッセージが送信されます。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせ、ご希望の走行体験に適したものにするため、走行モードを以下のものから選択することができます：

- RAIN
- ROAD
- ENDURO
- 走行モードPro^{OE} 装備
- ENDURO PRO

走行モード事前選択では、最大4つまで走行モードを選択することができます。


各走行モード用に、システムDTC、ABS、MSRならびにエンジン特性曲線用に調整されている設定があります。

すべての走行モードでDTCをOFFにすることができます。以下の説明は、常に走行安全システムがONの場合に関するものです。

スロットルレスポンス

- RAIN およびENDURO：ソフト
- ROAD およびENDURO PRO：最適

ABS

 工場設定では、走行モードENDURO PROがONの場合、リヤホイールABS制御は作動解除されています。

調整

- ROAD、ENDURO およびENDURO PRO：ABSの設定は、それぞれのドライビングモードに対応しています。
- RAIN：ABSの設定はROADドライビングモードに対応しています。

調整

- RAIN およびROAD：ABSはオンロード走行に合わせて調整されています。
- ENDURO：ABSはオンロードタイヤでのオフロード走行用に調整されています。
- ENDURO PRO：ABS制御はブレーキペダルが操作されているとリアホイールに介入しません。ABSはブロックタイヤでのオフロード走行用に調整されています。

リヤホイール浮き上がり検知

- RAIN およびROAD：ライダーは、リヤホイールの浮き上がり検知によって最大限サポートされます。
- ENDURO：リヤホイール浮き上がり検知によるサポートは少なめとなり、リヤホイールを軽く浮き上がらせることができます。
- ENDURO PRO：リヤホイール浮き上がり検知は作動していません。

ABS Pro

- RAIN およびROAD：ABS Pro は全面的に利用可能です。
- ENDURO：ABS Pro の減速機能は、RAIN およびROAD に比べて減少しています。
- ENDURO PRO：デフォルト設定では、ABS Pro は使用できません。

制動力配分

フロントブレーキの操作

- RAIN およびROAD：制動力が最大限、リヤホイールに分配されています。
- ENDURO：リヤホイールへの制動力の配分は少なめで、オフロード走行に合わせて調整されています。
- ENDURO PRO：制動力は最大限リヤホイールに配分され、オフロード走行に合わせて調整されます。

DTC

タイヤの取り付け

- RAIN およびROAD：DTC はオンロードタイヤでのオフロード走行用に調整されています。
- ENDURO：DTC はオンロードタイヤでのオフロード走行用に調整されています。
- ENDURO PRO：DTC はブロックタイヤでのオフロード走行用に調整されています。

走行安定性

- RAIN：DTC の介入は、最大の走行安定性が得られるように早めに行われます。
- ROAD：DTC の介入は走行モードRAIN の場合よりも遅くなります。リヤホイールの空転ができる限り回避されます。
- RAIN およびROAD：フロントホイールの浮き上がりが防止されます。
- ENDURO：DTC の介入はオフロード走行に合わせて行われます。コーナー出口での短時間のウィリー走行が可能になります。
- ENDURO PRO：DTC のコントロールは、オフロードでのドラムタイヤの走行を前提としています。DTC の介入は走行モードENDURO の場合よりも遅くなります。
- 走行モードENDURO PRO では、フロントホイール浮き上がり検知がOFF になるため、長く高い

136 技術情報

ウィリー走行が可能になります。高すぎると、車両が後方に倒れるおそれがあります！

エンジンブレーキトルクレギュレーター的作用

- RAIN およびROAD：最大限の安定性。
- ENDURO：安定性の低減。
- ENDURO PRO：エンジントルクレギュレーターが作動していません。

切替

走行モードは、イグニッションがONで車両が停止しているときに変更することができます。走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：

- スロットルグリップを回し戻します。
- ブレーキレバーは操作しません。

- クルーズコントロール^{OE} 装備
- クルーズコントロールを作動解除します。

ご希望の走行モードをまず事前を選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

ダイナミックブレーキコントロール

Dynamic Brake Control の機能

Dynamic Brake Control の機能は緊急ブレーキ時にライダーをサポートします。

緊急ブレーキの検知

- フロントブレーキが瞬間的に力強く操作されると、緊急ブレーキとして検知されます。

緊急ブレーキの際の挙動

- min 10 km/h を超える車速で走行しているときに緊急ブレーキがかけられると、ABS 機能に加えてDynamic Brake Control が作動します。

スロットルグリップの誤操作時の動作

- 緊急ブレーキ時にスロットルグリップが誤って操作された場合(グリップ位置 > 5%)、Dynamic Brake Control が「スロットル開」を無視することにより、

本来のブレーキ効果を確保します。緊急ブレーキの効果が確保されます。

- Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると(スロットルグリップ位置 < 5%)、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジントルクが再び確立されます。
- 緊急ブレーキが終了してもスロットルグリップが操作されたままの場合、Dynamic Brake Control はエンジントルクを制御し、ライダーの要望に合うように戻します。


タイヤ空気圧コントロール(RDC)

- タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備

機能


タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。

センサーには遠心ガバナーが装備されており、これにより最初に最低速度を越えた時点で測定値の伝送が行われ始めます。

 RDC 測定値の伝送のための最低速度：

min 30 km/h

チャージ圧が最初に受信される前は、ディスプレイにはタイヤごとに「-」が表示されます。停車後、センサーはさらに一定の時間、測定値を伝送します。

 車両停止状態後の測定値の伝送時間：

min 15 min

RDC コントロールユニットが装備されているが、ホイールにセンサーが取り付けられていないという場合には、エラーメッセージが出ます。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に適合した3つの充填圧領域を識別します：

- 充填圧が許容範囲内にある。
- 充填圧が許容限界域にある。
- 充填圧が許容範囲外にある。

温度補正

タイヤ空気圧は温度によって変化します。すなわち、タイヤ内の空気温度が上がるとタイヤ空気圧は増大し、タイヤ内の空気温度が下がると減少します。タイヤ内の空気温度は、外気温度、走行スタイル、走行時間に応じて変化します。


タイヤ空気圧はディスプレイに温度補正されて表示され、常に20℃のタイヤ内空気温度が適用されています。

138 技術情報

ガソリンスタンドの空気圧テスターで温度補正が行われていないと、測定されたタイヤ空気圧はタイヤ内の空気温度に左右されています。そのため、そこで表示される値は、大抵の場合、ディスプレイに表示された値とは一致していません。

充填圧の調整

メーターパネルのRDC 値と Rider's Manual の裏表紙に記載されている値を比較してください。これらの値の偏差は、ガソリンスタンドでタイヤ空気圧メーターを使用して補正する必要があります。

 例
Rider's Manual に従ってチャージ圧は以下の値に達する必要があります:
2.5 bar
メーターパネルに以下の値が表示されます:
2.3 bar
以下が欠如しています:
0.2 bar
ガソリンスタンドのテスターでの表示:
2.4 bar



正しいチャージ圧を生成するため、以下の値へ高める必要があります:

2.6 bar

ギヤシフトアシスト

-シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro

この車両には、元々レンシュポルト(レーシングスポーツ)において開発されたギヤシフトアシストProが装備されています。この装備はツーリング走行に合うように適合化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

エンジン制御は以下に応じてシフトチェンジをサポートします:

- ご希望のターゲットギヤ
- エンジン回転数
- スロットルグリップの位置

ライダーは、走行状況や安全性・快適性を考慮に入れて、シフトアシストの使用について決定します。

利点

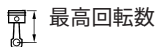
- ギヤシフトの大部分をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとタンデム同乗者の間の動きが少なくてすみます。
- 加速時にスロットルを閉じる必要がありません。
- シフトダウン(スロットルを閉じた状態)の際には、ブリッピングにより回転数の調整を行います。
- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

ライダーはご希望のシフト制御のため、事前に操作されていないシフトレバーを通常どおり素早くご希望の方向に操作し、シフト操作部の機械的なストップ位置まで動かす必要があります。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。シフトアシストProを使用して最適なシフト品質を実現するには、シフト動作の前と最中にその都度の負荷状態(スロットルグリップ位置)を一定に保つ必要があります。クラッチ操作によってシフト動作を行う場合には、シフト

アシストProのサポートはありません。

シフトダウン

- シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。



最高回転数

max 8500 min⁻¹

シフトアップ

- シフトアップは、ターゲットギヤにおけるアイドル回転数を下回るまでサポートされます。それにより、アイドル回転数を下回ることが避けられます。
- 惰性走行中のシフトアップでは、特に低速ギヤの場合、原理的に、ぎくしゃくして快適性が損なわれ、負荷変動による反動がより強くなる可能性があります。

HILL START CONTROL PRO (HSC PRO)

- Hill Start Control^{OE} 装備

140 技術情報

発進アシストの機能

発進アシストHill Start Control Proは、上り坂における制御不能な後退を、ABS パーシャルリーインテグラルブレーキシステムへの適切な介入によって防ぎます。ライダーがずっとブレーキレバーを操作し続ける必要はありません。Hill Start Control Proの作動時にリアブレーキシステム内で圧力が生成されるので、傾いた面でもモーターサイクルが後退することはありません(▶▶ 84)。

ブレーキシステムのブレーキ圧は傾斜に応じて異なります。

ブレーキ圧のおよび発進動作への傾斜の影響

-傾斜が小さい場所で停止する場合は、わずかなブレーキ圧のみかかります。発進時のブレーキ解除が素早く行われます。

-傾斜が大きい場所で停止する場合は、大きなブレーキ圧がかかります。発進時のブレーキ解除にやや長かかります。発進にはより大きなトルクが必要であり、スロットルをさらに開く必要があります。

モーターサイクルが動いたり、スリップした場合の挙動

-Hill Start Control ProがONの状態でもーターサイクルが動くと、ブレーキ圧が上昇します。

-リアホイールがロックすると、約1m後にブレーキが再び解除されます。それにより、リアホイールがロックした状態ですべり落ちなどが防止されます。

エンジン停止または時間超過時のブレーキの解除

イグニッションキルスイッチでエンジンを停止させた場合、サイドスタンドを立てた場合、または時間超過(10分)後に、Hill Start Control Proは作動解除されません。

インジケーター/警告灯および以下の反応により、Hill Start Control Proの作動解除についてライダーに注意が促されます：

ブレーキ警告振動


-ブレーキが一瞬解除され、直後に再びブレーキがかけられます。

-その際、瞬間的な振動が感じられます。

-パーシャルリーインテグラルABSブレーキシステムは約1...2 km/hの速度で調整します。

-ライダーはモーターサイクルに手でブレーキをかける必要があります。

-2分後またはブレーキ操作時に、パーシャルリーインテグラルABSブレーキシステムは車速の調整を終了します。

 イグニッションオフ時には、ブレーキ警告で強く引かれることなく、即時に保持圧力は解放されます。

コーナリングライト

-Headlight Pro^{OE} 装備

機能

ロービーム、ハイビームおよび必要に応じてデイライト、またはポジション／パーキングライトに加え、ヘッドライトに別途 LED セグメントがコーナリングライト用に備わっています。この LED セグメントは、コーナー内側をより良く照射するために、バンク角に応じてロービームに加えて使用されます。コーナリングライトは軽く傾けた程度の緩やかなバンク角用に最適化されています。

コーナリングライトは下記の条件下で作動します：

- 軽く傾けた程度の緩やかなバンク角での走行。
- 車速は min 10 km/h。
- ロービームが ON の状態であること。

メンテナンス

09

一般的な情報	144
ツールキット	145
フロントホイールスタンド	146
リアホイールスタンド	146
エンジンオイル	146
ブレーキシステム	148
クラッチ	153
タイヤ	154
ホイールリム	155
ホイール	155
ライトバルブ	163
ジャンプスタート	163
バッテリー	165
ヒューズ	168
診断コネクタ	170

一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

取り付ける際に専用の締付けトルクがある場合には、その締付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

記述されている作業の実施にあたっては、専用のツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

マイクロカプセルボルト

マイクロカプセルは化学的なねじ固定方法です。接着剤により、ボルトとナット、あるいはコンポーネント間の強固な接合を可能にします。そのため、マイクロカプセルボルトは1回限りの使用にのみ適しています。

取り外しまたは取り付けにかかわらず、ねじ穴は常に清掃される必要があります。取り外しの後には、内側のねじ山から接着剤を取り除く必要があります。取り付ける際には、必ず新しいマイクロカプセルボルトを使用してください。取り外しを行う前

に、ねじ山清掃用の適切なツールおよび交換用ボルトを持ち合わせていることを確認してください。不適切な作業が行われると、ボルトの固定機能が保証されなくなり、あなたに危険が及ぶおそれがあります。

使い捨てケーブルストラップ

ケーブルやライン類は別々に使い捨てケーブルストラップで固定されています。取り外し時にケーブルやライン類が損傷しないようにするため、サイドカットプライヤーなどの適切なツールを使用する必要があります。

再取り付けの際には、外したケーブルやライン類を新しい使い捨てケーブルストラップで固定する必要があります。

余長分はケーブルストラッププライヤーを使用してカットする必要があります。

ツールキット

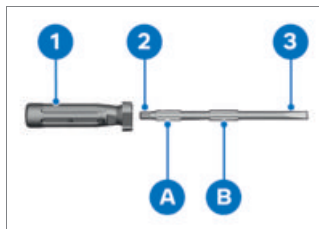
車載ツールキットを使用する



- 1 オープンエンドレンチ
口径 10/14 mm
-ミラーアームを調整します。(▶▶▶ 96)
-フロントホイールのスプリングプリロードを調整する。(▶▶▶ 100)
- 2 リバーシブルブレードドライバースタンプ
マイナスブレードおよびトルクス T25
-フロントホイールのリバウンドダンピングを調整します。(▶▶▶ 104)
-フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整します。(▶▶▶ 103)
-リアホイールのコンプレッションダンピングを調整します。(▶▶▶ 105)
-リアホイールのリバウンドダンピングを調整します。(▶▶▶ 106)

- 3 ドライバークリップ
-エンジンオイルを補充します。(▶▶▶ 147)
-スパナと共に使用
- 4 トルクスレンチ用エクステンション
-シートを取り外します。(▶▶▶ 90)
- 5 トルクスレンチ T30
-シートを取り外します。(▶▶▶ 90)
-エクステンションと共に使用
- 6 プラスチックアタッチメント
-フロントホイールのスプリングプリロードを調整する。(▶▶▶ 100)

スクロッドライバーを用意する



- トルクス T25 **2** またはマイナスヘッドブレード **3** をドライバーのグリップ **1** に差し込みます。

146 メンテナンス

- マイナスヘッドブレードの長さ 3 はポジション A(ロング) または B(ショート) に差し込むことにより、調整可能です。

フロントホイールスタンド

フロントホイールスタンドを取り付ける

重要事項

追加補助スタンドなしでのフロントホイールスタンドの使用転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、補助スタンドで立ててください。
- モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。
- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。
- リヤホイールスタンドを取り付けます。(▶ 146)
- 正しい取り付け方の説明は、フロントホイールスタンドの説明書に記載されています。


リヤホイールスタンド

リヤホイールスタンドを取り付ける

- 正しい取り付け方の説明は、リヤホイールスタンドの説明書に記載されています。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

 環境に不要な負荷をかけるないようにするため、BMW Motorrad は、min 50 km 走行後にエンジンオイルを点検することをお勧めします。

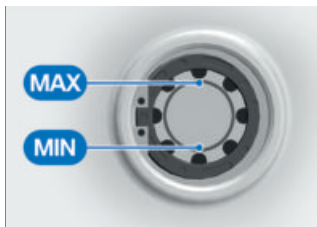
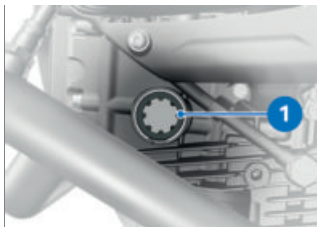
重要事項

オイルレベルが温度に対応して変化する(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる) ことによる、オイル充填についての誤った解釈

誤った充填によるエンジン損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時にのみ、行います。

- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。
- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。




重要事項

モーターサイクルの転倒

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルを、転倒しないようにしっかりと支えます。もう1人、サポートできる人がいると最善です。
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。

 エンジンオイル規定レベル

MIN マークとMAX マークの間

オイルレベルが**MIN** マークを下回っている場合：

- エンジンオイルを補充します。(➡ 147)

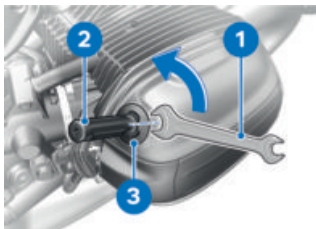
オイルレベルが**MAX** マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

148 メンテナンス



- オイル注入口周辺を清掃します。
- 動力伝達を容易にするため、スパナ 1 をドライバーグリップ 2 (車載ツールキット) にあてがいます。
- ドライバーグリップ 2 をオイルフィルタープラグ 3 の上にセットし、反時計回りに回します。
- オイルフィルタープラグ 3 を取り外します。


重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる

誤った充填によるエンジン損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。

 エンジンオイル補充量

max 0.5 l (MIN と MAX 間の差)

- エンジンオイルレベルを点検します。(▶▶ 146)
- オイルフィルタープラグ 3 を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
 - ブレーキペダルを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- はっきりした抵抗が感じられない場合：

重要事項

ブレーキシステムにおける不適切な作業

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

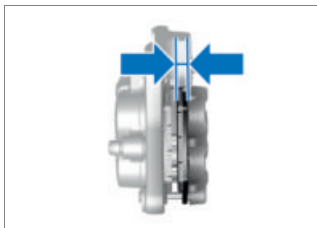
- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。


フロントブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントサスペンションの間を通過して、ブレーキパッド **1** へ。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

min 4.5 mm (キャリアプレート付きクラッチライニング。摩耗インジケーター(溝) がはっきりと目視確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターが見えない場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る制動作用の低下、ブレーキの損傷


- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。
 - BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。
- リヤブレーキパッド厚を点検する**
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

150 メンテナンス



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：左側からブレーキキャリパーの方へ。



 リヤブレーキパッドの
消耗限度

4.0 mm (キャリアプレート付きクラッチライニング。インナーブレーキパッドの孔からブレーキディスクが見えないこと。)

ブレーキディスクが見える場合：

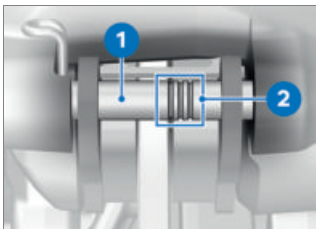
警告

パッドの使用限度厚を下回る制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。

ブレーキパッドの摩耗

リアブレーキにはブレーキパッド摩耗インジケーターが備わっています。



ブレーキパッド間にシャフト **1** があり、3本のリングマーク **2** が付いています。

マークの意味：

- リング3本が見える：ブレーキパッドの厚さのmin 75 %
- リング2本が見える：ブレーキパッドの厚さのmin 50 %
- リング1本が見える：ブレーキパッドの厚さのmin 25 %
- 目視確認できるリングがない：
摩耗限度に達しているか、再度、前述に従って点検します

フロントブレーキフルードレベルを点検する**警告**


ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れている
ブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
- ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
- ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。


- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ハンドルバーを、ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように調整します。
- ブレーキフルードレベルを点検窓 1 で読み取ります。

 ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



 フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

152 メンテナンス



フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルードレベルがMINマークを下回らないようにしてください（ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます。）

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

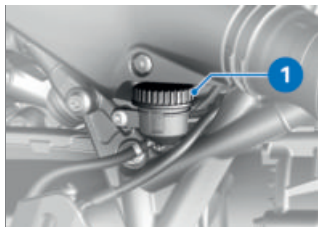
リヤブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れているブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
 - ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
 - ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
 - ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。



重要事項

モーターサイクルの転倒

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルを、転倒しないようにしっかりと支えます。もう1人、サポートできる人がいると最善です。

- リヤブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベル **1** を読み取ります。



ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



リヤブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが**MIN**マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクを水平状態にする)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
 》はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

抵抗がはっきりと感じられない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

154 メンテナンス

タイヤ

タイヤ空気圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。



警告

垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く

タイヤ空気圧の突然の喪失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ空気圧(フロント)

2.3 bar (1名乗車時(タイヤ冷間時))

2.5 bar (2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時))



タイヤ空気圧(リヤ)

2.5 bar (1名乗車時(タイヤ冷間時))

2.7 bar (2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時))

タイヤ充填圧が不適切である場合：


- タイヤ充填圧を調整します。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。
 - モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
 - タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。
-  摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗してい

ます。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイールリム

ホイールリムを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad デイラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

スポークを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ドライバーのグリップなどでスポークをこすり、その際の音色に注意します。

音色が不均一である場合：

- BMW Motorrad デイラー(最適)または専門の整備工場にスポークの点検を依頼してください。

ホイール

ホイールサイズがサスペンション制御システムに与える影響

ABS などのフレーム制御システムではホイールサイズが重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があります、交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前に BMW Motorrad デイラーにご相談ください。この場合、コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適応させる必要があります。

フロントホイールを取り外す

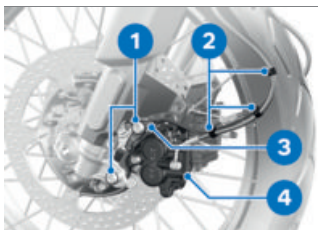
- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。
- リヤホイールスタンドを取り付けます。(146)
- フロントホイールが自由に回転するようになるまで、モーターサイクル前部を持ち上げます。

156 メンテナンス

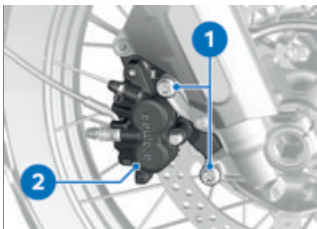
- フロントホイールスタンドを取り付けます。(▶▶▶ 146)



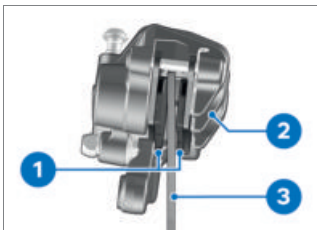
- 左右フォークカバーのボルト**1**を取り外します。



- ボルト **1**(左側) を取り外します。
- センサーケーブルをホルダー **2** から外します。
- センサーケーブル用ホルダー **3** およびブレーキキャリパー **4** を外します。



- ボルト **1**(右側) を取り外し、ブレーキキャリパー **2** を外します。



- ブレーキキャリパー **2** を回転させて、ブレーキパッド **1** をブレーキディスク **3** から少し離れるように押します。



重要事項

ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。

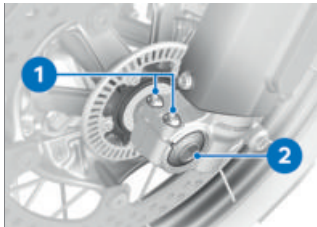


重要事項

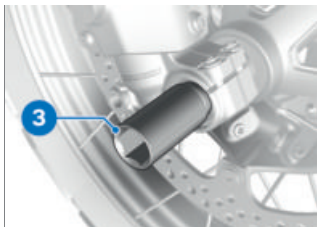
部品近辺での硬いかエッジが鋭い物の使用

コンポーネントの損傷

- コンポーネントに傷を付けないようにし、必要に応じて覆うか保護する。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に傷が付かないようにします。
- ブレーキキャリパーを慎重に後方外側へブレーキディスクから引き出します。



- 固定ボルト 1(左) を緩めます。
- ボルト 2 を緩めます。ただし、まだ取り外さないでください。
- 固定ボルト 1(右) を緩めます。
- アクスルシャフトをボルト 2 と共にわずかに内側に押し、右側からつかみやすくします。
- ボルト 2 を取り外します。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト 3 を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



- スペーサーブッシュ 4 をフロントホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびDTC による制御介入時の機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびDTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付けるボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。



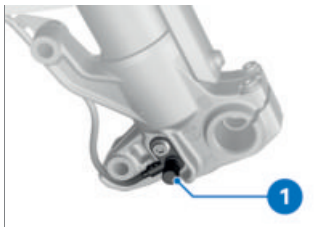
- スペーサーブッシュ 4 の摺動面にグリースを塗布します。



潤滑剤

Unirex N3 ホイールベアリンググリース

- スペーサーブッシュ 4 のカラーを外側にして、左側でホイールハブに差し込みます。

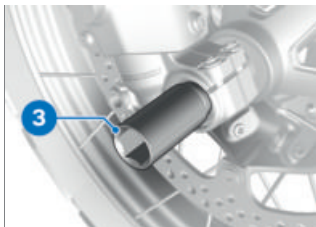


重要事項

フロントホイールの取り付けが回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。
- 回転数センサー**1**に注意しながら、フロントホイールを注意深くフロントサスペンションに転がします。



- アクスルシャフト **3** にグリースを塗布します。



潤滑剤

Unirex N3 ホイールベアリンググリース

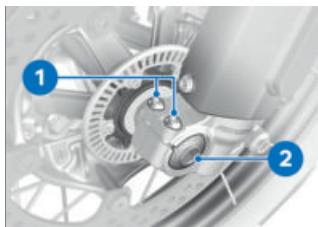


警告

アクスルシャフトの不適切な取付け

フロントホイールが外れる

- ブレーキキャリパーを取り付け、スプリングフォークのテンションを緩めた後、アクスルシャフトおよびアクスルランプを規定の締付けトルクで締め付けます。
- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **3** を取り付けます。



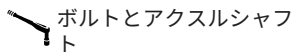
- ボルト **2** を取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。



ボルトとアクスルシャフト

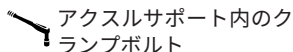
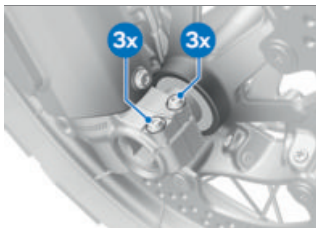
M20 x 1.5

160 メンテナンス



50 Nm

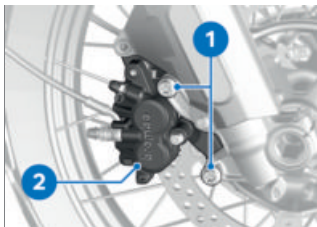
- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- 左右のクランプボルト **1** を締め付けトルクで締め付けます。



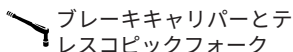
締め付け順序: ボルトを 6 回、交互に締め付ける

M6 x 30

12 Nm

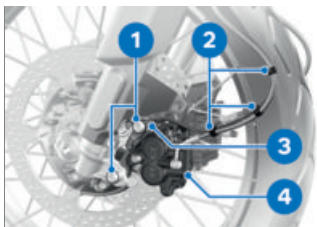


- 右ブレーキキャリパー **2** を組み込み、ボルト **1** を取り付けます。

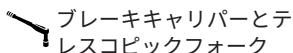


M10 x 45

38 Nm



- 左ブレーキキャリパー **4** とセンサーケーブル用留め具 **3** をあてがいます。
- ボルト **1** を取り付けます。



M10 x 45

38 Nm

- センサーケーブルをホルダー 2 に組み込みます。



警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない

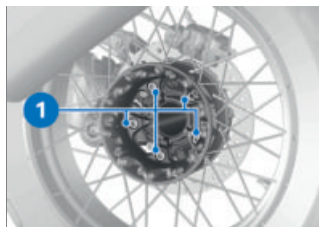
ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。

- リヤホイールスタンドを取り外します。
- モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。


リヤホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。
- リヤホイールスタンドを取り付けます。(▶▶▶ 146)



- ギヤを 1 速に入れます。
- ボルト 1 を取り外します。その際、ホイールを支えてください。
- リヤホイールを側方へ引き出して傾けます。

- 左右フォークカバーのボルト 1 を取り付けます。

 フォークレグ上の
フォークガード

M6 × 16

8 Nm

- サイドスタンドを立てる。

162 メンテナンス

リヤホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびDTC による制御介入時の機能障害

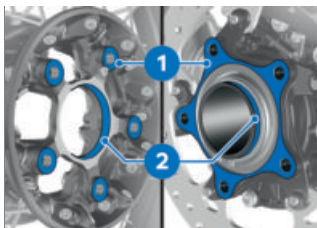
- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびDTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。



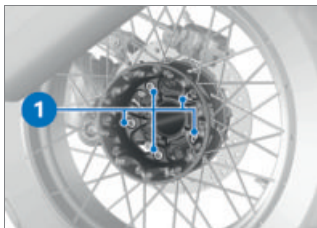
- ホイールハブ **1** とホイールセンター部 **2** の当たり面を清掃します。

重要事項

部品近辺での硬いかエッジが鋭い物の使用

コンポーネントの損傷

- コンポーネントに傷を付けないようにし、必要に応じて覆うか保護する。
- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。



- ボルト **1** を規定の締め付けトルクで締め付けて取り付けます。



リヤホイールとホイール
キャリア

締付け順序: 対角の順に締め
付ける

M10 x 53 x 1.25

60 Nm

- サイドスタンドを立てる。
- リヤホイールスタンドを取り外します。
- モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。

ライトバルブ

LED バルブを交換する



警告

車両バルブ機能停止による道
路交通での車両の見過ごし
安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはでき
るかぎり早く交換してくださ
い。この件につきましては、
BMW Motorrad ディーラーにお
問い合わせください。

当該モーターサイクルのすべてのライトバルブはLEDバルブです。LEDバルブはご利用のモーターサイクルより長寿命です。LEDバルブの不具合については、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

ジャンプスタート



注意

エンジン作動時に、イグニッ
ションシステムの電圧を伝導
する部品に接触

感電

- エンジン作動時は、イグニッ
ションシステムの部品に決し
て触れないでください。



重要事項

モーターサイクルでジャンプス
タートを行う際の強すぎる電流
車両電装系の損傷やケーブル
の燃焼

- モーターサイクルのジャンプ
スタートは電源ソケットか
らではなく、必ずバッテリー
ターミナルから行ってくださ
い。



重要事項

ジャンパーコードのターミナ
ルクランプと車両間の接触
ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶
縁されているターミナルクラ
ンプとともに使用してくださ
い。

重要事項

バッテリープラスターミナルと車両の接触

ショート恐れ

- 保護キャップはバッテリープラスターミナルの使用のみ取り外し、使用後は再びしっかりと取り付けてください。



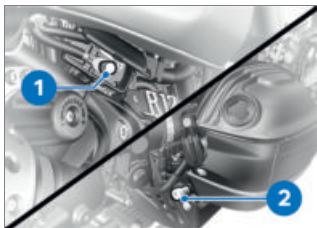
- 保護キャップ **1** をロック **2** からクランプ留めを外して取り外します。

重要事項

ジャンプスタートを 12V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷


- 供給側車両のバッテリー電圧が、12Vであることを確認してください。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから切り離さないでください。



- ジャンパーコード(赤)の一方の先端を、まずバッテリープラスターミナル **1** に接続します。その後、もう一方の先端をもう一方のバッテリーのプラスターミナルに接続します。
- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を、自身の車両のグラウンドターミナル **2** に接続します。その後、もう一方の先端をもう一方のバッテリーのマイナスターミナルに接続します。
- 電源を供給する車両の燃焼エンジンは、ジャンプスタートの

間、少し高め回転数で作動するようにしてください。

- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。

 エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似の補助剤は使用しないでください。

- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードをまずグラウンドターミナル 2 から外し、その後バッテリープラスターミナル 1 から外します。



- 保護キャップ 1 を留め具 3 にはめ、ロック 2 にクランプ留めます。
- » 保護キャップ 1 が音を立ててかみ合います。

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください：

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

バッテリー型式

AGM バッテリー (Absorbent Glass Mat : グラスマット吸収式)

- M Lightweight 車両バッテリー搭載^{OE}

リチウムイオンバッテリー ◁


- 寒冷地仕様^{OE} 装備

AGM バッテリー (Absorbent Glass Mat : グラスマット吸収式) ◁

重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する過放電、それによる保証要件からの除外

- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。

 BMW Motorrad では、モーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳細についてはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

バッテリーを充電する

重要事項

完全に放電したバッテリーを電源ソケットまたは補助コネクターから充電

車両電装系が損傷するおそれがあります

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 < 12 V、イグニッション ON の状態でインジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが OFF のまま）は、常に、バッテリープラスターミナルおよびバッテリーグラウンドターミナルで充電してください。

重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー

チャージャーおよび車両電装系の損傷

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorrad ディーラーで入手することができます。
- バッテリーを電源ソケットから充電します。

i バッテリーがフル充電されると、車両エレクトロニクスが検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。

- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。

i 電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子回路に適合していない可能性があります。この場合には、バッテリーをバッテリープラスターミナルおよびグラウンドターミナルから充電してください。

- バッテリーをバッテリープラスターミナルとグラウンドターミナルから充電します。
- イグニッションを OFF にします。(▶▶ 68)

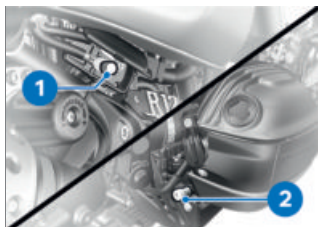


! 重要事項

バッテリープラスターミナルと車両の接触

ショートの恐れ

- 保護キャップはバッテリープラスターミナルの使用中的み取り外し、使用後は再びしっかりと取り付けてください。
- 保護キャップ **1** をロック **2** からクランプ留めを外して取り外します。



- バッテリープラスターミナル **1** を充電器のプラスターミナルに接続します。

168 メンテナンス

- グラウンドターミナル 2 を充電器のマイナスターミナルに接続します。
- 充電プロセスの終了後、充電器を、まずグラウンドターミナル 2 から、その後バッテリープラスターミナル 1 から外します。



- 保護キャップ 1 を留め具 3 にはめ、ロック 2 にクランプ留めします。
- » 保護キャップ 1 が音を立ててかみ合います。

バッテリーを交換する

バッテリーに不具合が見られる場合には、BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場にお問い合わせください。

ヒューズ


ヒューズを交換する


重要事項

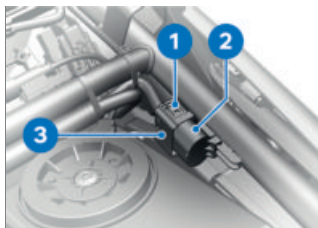
故障しているヒューズのバイパス

ショートや火災の危険

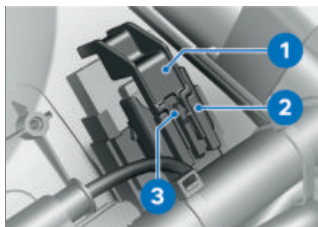
- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。

 ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検をBMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場に依頼してください。

- イグニッションを OFF にします。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- シートを取り外します。（▶ 90）



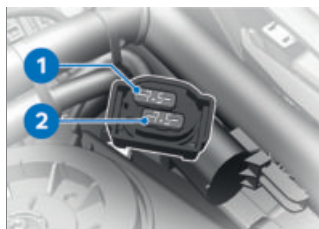
- ヒューズ割り当て I 用にロック 1 の両側を押し、ヒューズボックス 3 を留め具 2 から引き出します。
- 故障しているヒューズを以下のヒューズ割り当てに従って交換します。
- ヒューズボックス 3 を再び留め具 2 に組み込みます。ロック 1 がかみ合っていることを確認してください。



- ヒューズ割り当て II 用に車載ツールキットのマイナスヘッドブレードを使用してロック 3 を外し、カバー 1 を上方向へ取り外します。

- 故障しているヒューズを以下のヒューズ割り当てに従って交換します。
- カバー 1 を再び留め具 2 に組み込みます。
- » ロック 3 がかみ合います。
- シートを取り付けます。(▶▶▶ 91)

ヒューズ割り当て I



- 1 7.5 A
メーターパネル
盗難警報装置
診断ソケット
- 2 7.5 A
キーレスライド

170 メンテナンス

ヒューズ割り当て II



- 1 60 A
メインヒューズ
- 2 15 A
コンビネーションスイッチ
メーターパネル
CCP

診断コネクタ

診断コネクタを外す

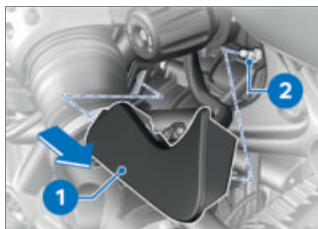


注意

オンボード診断用診断コネクタを外す際の手順の誤り

モーターサイクルの機能障害

- 診断コネクタの取り外しは、必ず、専門の整備工場またはその他の認定されているメカニックに依頼し、BMW Motorrad サービス中に行ってもらうようにしてください。
- 適切なトレーニングを受けたメカニックに作業の実行を依頼します。
- モーターサイクルメーカーの規定を確認し、遵守してください。



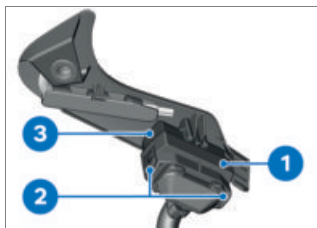
- カバー 1 を留め具 2 から外して矢印方向に取り外します。その際、診断コネクタの配線に注意してください。



- 診断コネクタ 1 を軽くホルダー 3 に押し込みながら、同時にロック 2 を診断コネクタ 1 に押し付けます。
 - 診断コネクタ 1 をホルダー 3 から外します。
- » 診断システム／情報システム用インターフェースを診断コネクタ 1 に差し込むことができます。

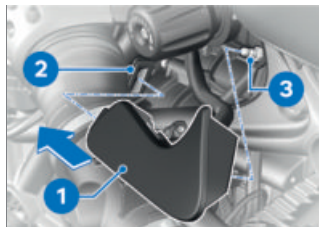
診断コネクタを取り付ける

- 診断システム／情報システム用インターフェースを取り外します。



- 診断コネクタ 1 をホルダー 3 に差し込みます。

» ロック 2 がかみ合います。



- カバー 1 を矢印方向にホルダー 2 にはめ、留め具 3 に押し付けます。その際、診断コネクタの配線に注意してください。

アクセサリー

10

一般的な情報	174
電源ソケット	174
USB 充電ポート	175
ラゲッジ(荷物)	176
ナビゲーションシステム	177
アクセサリ	180

一般的な情報



注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト／点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。

これらの部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が行われたものです。そのため、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は一切の責任を負いません。

変更を加える場合にはすべてにおいて、必ず法規制に従ってくだ

さい。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/equipment

電源ソケット

電装系機器の接続

-電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

- 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

- 電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
- 車両電装システムの負荷解除のため、充電ソケットはイグニッションを OFF にしてから 60 秒

後に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。その場合、イグニッションを OFF にした後、少し経ってから電源ソケットが OFF になります。

- バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
- テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。

USB 充電ポート

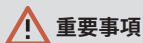
- ConnectedRide Control^{OE} 装備
- ### ご利用のための注意事項



警告

ケーブルの不適切な取り回しによるステアリングアングルの妨害および火災の危険
走行安全性の低下

- ケーブルをハンドルバーの周囲に巻かないでください。ハンドルバーが自由に動くことを確認してください。
- ケーブルを取り回す際は、ケーブルが高温のコンポーネントに触れないように注意してください。



重要事項

走行中の振動

収納されている携帯電話の損傷

- 収納されている携帯電話が当該車両での使用に適していることをご確認ください。それに関する使用制限についてはメーカーにお問い合わせおよびご確認ください。

自動停止

- 以下の状況では、USB 充電ポートは自動的に OFF になります。
- バッテリー電圧が低すぎて、車両の始動性能を維持できない場合。
 - 仕様(諸元)で規定されている最大負荷を超過している場合。
 - 始動動作中。

電装系機器の接続

USB 充電ポートに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。車両電装システムの負荷解除のため、USB 充電ソケットはイグニッションを OFF にしてから 60 秒後に OFF になります。接続されている機器の保護のため、雨天走行時にはこの機器を外してください。接続されている機器がない場合には、カバーを閉じ、汚れを防ぎます。

176 アクセサリー

ケーブルの取り直し

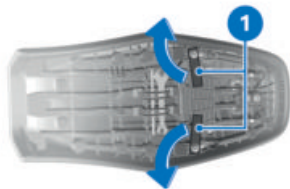
USB 充電ポートから追加装備機器にケーブルを取り直す際には、以下の点に注意してください：

- ケーブルがライダーの妨げになってはなりません。
- ケーブルがハンドルバーの動きやハンドリング性能を制限してはなりません。
- ケーブルが挟み込まれたりしてはなりません。

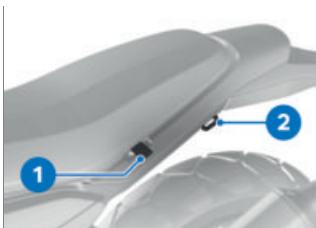
ラゲッジ(荷物)

固定フックへの荷物の取り付け


- シートを取り外します。(▶▶▶ 90)



- 固定フック**1**を外へ回します。
- シートを取り付けます。(▶▶▶ 91)



- 固定フック**1**と**2**へ固定ベルトを取り付けます。

 軽い荷物を固定するときには、フックアイに負荷がかかりすぎないように注意してください(max 5 kg)。ベルトやケーブルは適切に手で、機械的なサポート(レンチなど)を使用せずに、固定する必要があります。

荷物をモーターサイクルに固定する



警告

積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる
転倒の危険

- 許容総重量を越えないようにし、積載に関する注意をお守りください。

- 荷物の積載。(▶▶▶ 111)
- 荷物をBMW Motorrad 純正アクセサリに収納します。
- »ラゲッジシステムおよびその固定に関する詳細については、

BMW Motorrad ディーラーにお問
い合わせください。

最大積載荷重および最高速度

-タンクバッグ^{OA} 装備


または


-サイドバッグ付き^{OA}

最大積載荷重および最高速度を
確認し、遵守します。荷物の積載
は、モーターサイクルの傾斜安定
性が確保されるように行ってく
ださい。


ここに記載されている組み合わ
せについては、次の値が適用され
ます：

-タンクバッグ^{OA} 装備

	タンクバッグの積載容量
	max 5 kg

	タンクバッグを装着して 走行する場合の最高速度
	max 130 km/h

-サイドバッグ付き^{OA}

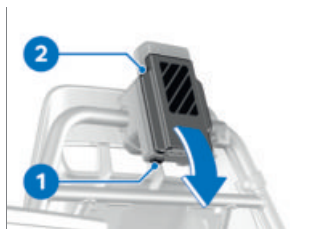
	サイドバッグの積載量
	max 5 kg (バッグごと)
	サイドバッグの速度制限
	max 130 km/h

ナビゲーションシステム

-ConnectedRide Control^{OE} 装備
-NAV 取付けキット^{OA} 装備

ナビゲーションユニットをしっ かりと取り付ける

- イグニッションを ON にしま
す。(▶▶ 68)



- ボタン **1** を長押しします。
» ConnectedRide Mount はロック
解除されており、カバー **2** を前
方へ回転させて取り外すことが
できます。



- ナビゲーション機器 **2** を下部ホ
ルダー **1** に差し込み、回転させ
ながら後方に回します。

178 アクセサリー

- » ナビゲーションシステムが音を立ててロック 3にはまります。
- ナビゲーションシステム2 ConnectedRide Mount にしっかり座っているようにします。
- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 68)

ナビゲーション機器の取り外し

重要事項

ConnectedRide Mount のコンタクトにホコリや汚れが付着している

コンタクトの損傷

- 走行後には毎回、カバーを再び取り付けてください。
- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)



- ボタン 1 を長押しします。
- » ConnectedRide Mount のロックが解除され、ナビゲーションシステム2を前方に回転動作させて取り外すことができます。



- カバー 2 を下部ホルダー 1 に差し込み、回転させながら後方に回します。
- » カバーが音を立ててロック 3にはまります。
- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 68)

ConnectedRide Mount を設定する

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 68)





- ボタン 1 を長押しします。
- » ConnectedRide Mount はロック解除されており、カバー 2 を前方へ回転させて取り外すことができます。



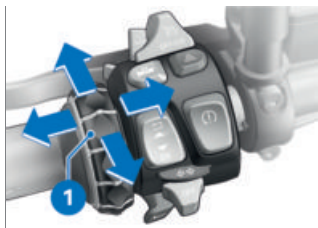
- ボルト **1** をゆるめる。
- ケーブル**3**に注意しながら、ConnectedRide Mount **2**の位置と角度を合わせます。
- ボルト **1** を締め付けます。

ナビゲーションシステムを操作する

 以下の説明はBMW Motorrad ConnectedRide Navigatorに関するものです。

 BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。必要に応じてBMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

BMW Motorrad ConnectedRide Navigator が装着されている場合、そのいくつかの機能をハンドルバーで直接操作することができます。



ナビゲーションシステムの操作は、マルチコントローラー **1** を介して行われます。

マルチコントローラー **1** を上下方向に回す

- メニューを選択する
- 音量を変更する
- 地図を拡大する

マルチコントローラー **1** を左/右へ素早く傾ける

- 確定またはキャンセル

特別機能

詳細についてはConnectedRide Navigator 取扱説明書をご覧ください。

セキュリティ設定

BMW Motorrad ConnectedRide Navigator 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項を確認し、遵守してください。

180 アクセサリー

アクセサリー

使用可能なアクセサリー



BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品およびアクセサリ、ラゲッジシステムやシートなどのその他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

BMW Motorrad のすべてのアクセサリを当社ホームページでご紹介しています：

bmw-motorrad.com

お手入れ

11

ケア用品	184
洗車	184
損傷しやすい車両部品のお手入れ	185
ペイントのお手入れ	186
保護コーティング	187
長期保管	187
モーターサイクルの再使用	188

ケア用品

重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。

重要事項

強度の酸性またはアルカリ性の洗剤の使用について

車両部品の損傷

- 洗剤の包装に記載されている希釈濃度を確認し、遵守してください。
- 決して強度の酸性またはアルカリ性の洗剤を使用しないでください。

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品を BMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products については、原料のテストや研究機関による製品テストおよび試用テストが行われており、車両に使用されている素材のケアと保護を最適に行います。

洗車

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド

ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレーキがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。

重要事項

高圧洗浄機またはスチーム噴射器装置による高水圧による損傷
腐食またはショート、ステッカー、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装品およびシートの損傷

- 高圧ないしスチーム噴射器装置で運転席エリアやスイッチを清掃しないでください。
- 高圧またはスチーム噴射器装置は注意して使用してください。

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリー

ナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

フォークストラットは定期的に清掃し、汚れを取り除いてください。

特に冬季の間や塩が散布された道路を走行する場合には、洗車をより頻繁に行ってください。




重要事項

温水による塩の作用の増大

腐食

- 散布されて付着した塩を除去するには、必ず冷水のみを使用してください。

路面に散布されていて付着した塩を除去するため、走行後は直ちに、車両および必要に応じて取付部品を冷水で洗い流してください。

 雨天走行後や湿度が高い場合、あるいは洗車後には、ヘッドライトの内側に結露が生じることがあります。そのような場合、ヘッドライトが一時的に曇ることがあります。ヘッドライト内に湿気や水分が長期にわたって溜まっているような場合には、BMW Motorrad ディーラー

(最適) または専門の整備工場にお問い合わせください。

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック



重要事項

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。

プラスチック部品は水およびBMW プラスチックケア剤を使用して清掃してください。該当部品：

- ウインドシールドおよびウインドディフレクター
- プラスチック製ヘッドライトレンズ
- メーターパネルのカバーガラス
- ブラック、非塗装部品



硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。

186 お手入れ

メーターパネル

メーターパネルを温かい程度の湯(温水)と洗剤を使用して清掃します。続いて、ペーパータオルなどの清潔なウェスで拭き取って乾かします。

クローム

クローム部品を十分な水とBMWケア製品シリーズのモーターサイクルクリーナーで丁寧に清掃します。これは特に、道路に散布された塩の影響が見られる場合に該当します。

さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad ハイグロスポリッシュを使用してください。

ラジエター

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げる

ラジエタープレートの損傷

- 清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。

そのため、例えば庭用ホースなどを、水圧を低くして使用してください。

ラバー

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用

ラバーシールの損傷

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。

ラバー部品の清掃には、水またはBMW ラバークリーナーを使用してください。

ペイントのお手入れ

重要事項

メタルポリッシュによる塗装の損傷

損傷のおそれがあります

- 塗装およびクローム塗装にはメタルポリッシュを使用しないでください。

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすお


それがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のためにBMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。


BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

 クロームめっきはクロームポリッシュで防錆処理してはなりません。


BMW Motorrad が推奨するもののみを使用してください。

長期保管

- モーターサイクルを満タンにします。

 ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳細情報については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

- 洗車します。
- ブレーキレバーおよびクラッチレバーのピボット部に適切な潤滑剤を吹き付けます。
- 金属部品やクロームメッキ部品に中性のグリース(ワセリン)を塗布します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します(できればBMW Motorrad が提供しているフロントホイールスタンドおよびリヤホイールスタンドを使用)。
- 必要に応じて、充電器を接続します。

 BMW Motorrad では、モーターサイクルの電子機器専用にトリクルチャージャーを開

188 お手入れ

発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳細についてはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

モーターサイクルの再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- 必要に応じて、バッテリーを充電します。
- チェックリストを確認し、遵守します (III▶ 113)。

テクニカルデータ

12

トラブルシューティング	192
ねじ止め部	193
燃料	195
エンジンオイル	195
エンジン	196
クラッチ	196
ギヤボックス	196
リヤホイールドライブ	196
フレーム	197
サスペンション	197
ブレーキ	197
ホイールとタイヤ	198
電装系	199
バッテリー	200
寸法	201
重量	202
性能	202

192 テクニカルデータ

トラブルシューティング

エンジンが始動しない／始動しにくい。

原因	修理
イグニッションキルスイッチが操作されています。	イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている。	サイドスタンドを格納します。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない。	ギヤをニュートラルにするか、クラッチを切ります。
燃料が入っていません。	給油手順。(1111▶ 122)
バッテリーが空です。	バッテリーを充電します。 (1111▶ 166)
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約1分間冷却します。

ねじ止め部

フロントホイール	数値	有効
ブレーキキャリアと テレスコピックフォー ク		
M10 x 45	38 Nm	
アクスルサポート内の クランプボルト		
M6 x 30	締付け順序: ボルトを 6回、交互に締め付ける	
	12 Nm	
ボルトとアクスルシャ フト		
M20 x 1.5	50 Nm	
リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイール キャリア		
M10 x 53 x 1.25	締付け順序: 対角の順 に締め付ける	
	60 Nm	
ミラーアーム	数値	有効
ミラー (ロックナッ ト) とアダプター		
M10 x 1.25	左ネジ、22 Nm	

194 テクニカルデータ

フロントフェンダー	数値	有効
フォークレッグ上の フォークガード		
M6 × 16	8 Nm	

シフトレバー	数値	有効
ステップパーツとシフト レバー		
M6 x 25	8 Nm	

ハンドルバー	数値	有効
クランプ台 (ハンドル バークランプ) とフォー クブリッジ		
M8 × 35	締付け順序: 進行方向 の前のブロックで締め 付けます	
	24 Nm	

フレーム	数値	有効
リヤフレームのシート ロック		
M6 x 16	6 Nm	

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (スーパー) (エタノール 15%以下、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (エタノール 15%以下、E15) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 15.5 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
燃費	5.1 l/100 km、WMTC に準拠
CO2 排出	119 g/km、WMTC に準拠
排ガス基準	EU 5

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、フィルター交換時
規格	SAE 15W-50、API SJ / JASO MA2、添加剤(例えばモリブデンベースのもの)は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Pro オイルを推奨しています。
エンジンオイル補充量	max 0.5 l、MIN とMAX 間の差

196 テクニカルデータ

エンジン

エンジン番号位置	クランクケース下部右側、スターターの下
エンジン型式	A72B12B
エンジン型式	空冷 /油冷 2 気筒 4 ストローク ボクサーエンジン
排気量	1170 cm ³
圧縮比	12:1
最高出力	80 kW、回転数: 7000 min ⁻¹
最大トルク	115 Nm、回転数: 6500 min ⁻¹
最高回転数	max 8500 min ⁻¹
アイドル回転数	1150 ^{±50} min ⁻¹ 、エンジンは通常の作動温度

クラッチ

クラッチの仕様	乾式単板クラッチ
---------	----------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式 6 速トランスミッション、分離式ギヤボックスハウジング
-----------	-------------------------------------

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.909
ファイナルドライブオイル	FUCHS Titan EG 4218 SAE 70W-80

フレーム

型式プレートの位置	左フロントフレームとステアリングヘッド
車両識別番号の位置	右フロントローアメインフレーム

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	倒立テレスコピックフォーク
スプリングトラベル(フロント)	210 mm、ホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	アルミキャストシングルスイングアーム、BMW Motorrad パラレバー
スプリングトラベル(リヤホイール)	200 mm、ホイールで

ブレーキ

フロントホイール

フロントブレーキ型式	ダブルディスクブレーキ、2ピストンフローティングキャリパー
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	4.4 mm、新品時の状態 min 4.0 mm、摩耗限度

198 テクニカルデータ

リヤホイール

リヤブレーキ型式	シングルディスクブレーキ、2ピ ストンフローティングキャリ パー
リヤブレーキパッドの材質	有機素材
リヤブレーキディスク厚	5.0 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度

ホイールとタイヤ

タイヤ速度カテゴリー(フロント /リヤ)	V、少なくとも下記の値以上が必 要: 240 km/h
-エンデュロパッケージ Pro ^{OE} 装備	R、少なくとも下記の値以上が必 要: 170 km/h

フロントホイール

フロントホイールリムサイズ	2.15" x 21"
タイヤサイズ(フロント)	90/90-21
タイヤ荷重指数(フロント)	min 54
フロントホイールアンバランス 許容値	max 5 g

リヤホイール	
リヤホイールリムサイズ	4.00" x 17"
-エンデュуроパッケージ Pro ^{OE} 装備	4.00" x 18"
タイヤサイズ(リヤ)	150/70 R 17
-エンデュуроパッケージ Pro ^{OE} 装備	150/70 R 18
タイヤ荷重指数(リヤ)	min 69
-エンデュуроパッケージ Pro ^{OE} 装備	min 70
リヤホイールアンバランス許容値	max 5 g
タイヤ空気圧	
タイヤ空気圧(フロント)	2.3 bar、1名乗車時(タイヤ冷間時) 2.5 bar、2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時)
タイヤ空気圧(リヤ)	2.5 bar、1名乗車時(タイヤ冷間時) 2.7 bar、2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時)
電装系	
電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット(合計)

200 テクニカルデータ

ヒューズ	
クランプ 1	60 A、メインヒューズ(オルタネーター、CCP、Wave、ヒューズボックス)
クランプ 2	7.5 A、盗難警報装置、診断ソケット、メーターパネル
クランプ 3	7.5 A、Keyless Ride
クランプ 4	15 A、コンビネーションスイッチ、タコメーター、CCP
スパークプラグ	
スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK MAR8AI-10DS
ライトバルブ	
すべてのライトバルブ	LED
バッテリー	
バッテリー	
バッテリー型式	AGM バッテリー(Absorbent Glass Mat：グラスマット吸収式)
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	リチウムイオンバッテリー
-寒冷地仕様 ^{OE} 装備	AGM バッテリー(Absorbent Glass Mat：グラスマット吸収式)
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	10 Ah
-寒冷地仕様 ^{OE} 装備	14 Ah
バッテリータイプ (Keyless Ride 無線キー)	CR 2032

Keyless Ride の走行可能距離無線キー	約 1 m
--------------------------	-------

寸法

全長	2255 mm、リヤホイール上で測定、DIN 空車時
全高	1250 mm、ミラーなし、DIN 空車時
-エンデューロパッケージ Pro ^{OE} 装備	1265 mm、ミラーなし、DIN 空車時
全幅	900 mm、組付け部品を含まない 970 mm、ハンドプロテクターを含む
フロントシート高さ	860 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-エンデューロパッケージ Pro ^{OE} 装備	875 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-エンデューロパッケージ Pro ^{OE} 装備 -ラリーシート装備 ^{OE}	895 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ラリーシート装備 ^{OE}	880 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
ライダーステップアーチレングス	1935 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-エンデューロパッケージ Pro ^{OE} 装備	1960 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-エンデューロパッケージ Pro ^{OE} 装備 -ラリーシート装備 ^{OE}	2000 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ラリーシート装備 ^{OE}	1975 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時

202 テクニカルデータ

重量

空車重量	229 kg、DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
許容総重量	430 kg
最大積載荷重	201 kg

性能

最高速度	>200 km/h
------	-----------

サービス

13

リサイクル	206
BMW MOTORRAD サービス	207
BMW MOTORRAD サービス履歴	208
BMW MOTORRAD モビリティサービス	208
メンテナンス作業	208
メンテナンススケジュール	210
BMW MOTORRAD 初回点検	212
メンテナンスの確認	213

リサイクル

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社)全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

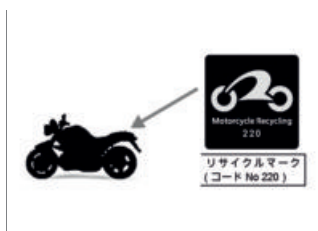
リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されているBMW Motorradは、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源

化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。

尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。

また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付されています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号：03-3598-8075
- 受付時間：9時30分～17時00分(土日祝日、年末年始等を除く)
- ホームページ：
<http://www.jarc.or.jp/>

BMW MOTORRAD サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界100か国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実に行うた

めの技術情報および技術的ノウハウを備えています。

最寄りのBMW Motorrad ディーラーについては、こちらのインターネットサイトをご参照ください：

bmw-motorrad.com



警告

メンテナンス作業や修理作業が正しく実施されなかった場合
結果として生ずる損傷による事故のおそれ

- BMW Motorrad は、バイクの関連作業を専門工場、できればBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを遵守することをお勧めします。

実施されているすべてのメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

208 サービス

BMW Motorrad サービスの内容につきましても、BMW Motorrad ディーラーにご確認ください。

BMW MOTORRAD サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両の電子サービス履歴に記入が行われると、サービスに関するデータはBMWがアクセス可能な中央ITシステムに保存されます。サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW MOTORRAD モビリティサービス

新車のBMW モーターサイクルの場合は、万が一のトラブル発生時にBMW Motorrad モビリティサービスによる各種のサービスを受けることができます(例：レンタカーサービス、応急作業、車両の回送)。

提供されるモビリティサービスについては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検(PDI) は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ずBMW 初回点検を行う必要があります。

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行した距離に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1年間にかかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によ

ては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。その場合には、適合する最大限の走行距離が一般整備記録に追加で記入されます。次回のサービスアポイントの前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

ディスプレイのサービス表示により、登録日の約1か月前または登録距離の約1000 km前に、次のサービス期日が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、後述のメンテナンススケジュールでご確認いただけます。実施される作業はそれぞれの規定の走行距離または規定の期間で予定されています。

210 サービス

メンテナンススケジュール

	500-1200 km 300 - 750 mls	10 000 km 6 000 mls	20 000 km 12 000 mls	30 000 km 18 000 mls	40 000 km 24 000 mls	50 000 km 30 000 mls	60 000 km 36 000 mls	70 000 km 42 000 mls	80 000 km 48 000 mls	90 000 km 54 000 mls	100 000 km 60 000 mls	12 months	24 months
1	X												
2		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X ^a	
3		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X ^a	
4			X		X		X		X		X		X ^b
5		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
6					X				X			X ^c	X ^c
7			X		X		X		X		X		
8			X		X		X		X		X		
9					X ^d				X ^d				
10				X			X			X			
11			X ^f										
12					X ^f								
13												X ^e	X ^e

- BMW Motorrad 初回点検(オイルおよびオイルフィルター交換を含む)
- BMW Motorrad 標準サービス範囲
- エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
- ベベルギヤのオイル交換(リヤ)
- バルブクリアランスを点検する
- トランスミッションオイルを交換する
- すべてのスパークプラグを交換する

- エアクリーナーエレメントを交換する
 - ジェネレーター用ベルトを交換する
 - テレスコピックフォークのオイル交換
 - カルダンシャフトの目視点検と潤滑
 - カルダンシャフトを交換する
 - システム全体のブレーキフルードを交換する
- a 1年に1回または10000 kmごと(どちらか先に該当した方)

- b 2年ごと、または20000 km ごと(どちらか先に該当した方)
- c 初回は1年後、その後は2年ごとまたは40000 km ごと(どちらか先に該当した方)
- d 6年ごと、または40000 km ごと(どちらか先に該当した方)
- e 初回は1年後、その後は2年ごと
- f コンポーネントの使用程度に基づく

BMW MOTORRAD 初回点検

BMW Motorrad 初回点検

下記に BMW Motorrad 初回点検の項目をリストアップしています。ご使用の車両に該当する実際のメンテナンス範囲とは異なることがあります。

- サービス期日および残り距離の設定
- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
- ベベルギヤのオイルを交換する
- フロントブレーキフルードレベルを点検する
- リアブレーキフルードレベルを点検する
- タイヤトレッド溝の深さとタイヤ空気圧を点検する
- スポークの張りを点検し、必要に応じて締め直す
- 照明および信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- 車載書類に記載されているBMW サービスについて確認する

メンテナンスの確認

BMW Motorrad サービス標準範囲

次に、BMW Motorrad サービス標準範囲の作業が挙げられます。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- 油圧式クラッチシステムの目視点検
- ステアリングヘッドベアリングを点検する
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- フロントブレーキフルードレベルを点検する
- リヤブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗を点検する
- リヤブレーキフルードレベルを点検する
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さを点検する
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- スポークの張りを点検し、必要に応じて締め直す
- インテークマフラーの結露を取り除く
- 照明および信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- BMW Motorrad 故障診断装置を使用して、サービス期日および残余走行距離を設定する
- バッテリー充電状態を点検する
- 車載書類に記載されているBMW Motorrad サービスについて確認する

214 サービス

BMW Motorrad 納車前点検 (PDI)

実施済み

日付 _____

押印、署名

BMW Motorrad 初回点検

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑(整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メインテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑 (整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メンテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑(整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メインテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑 (整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メンテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑(整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メインテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑 (整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メンテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑(整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メインテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑(整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メンテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑(整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メインテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアアングルギア内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ギヤオイルの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアフィルターエレメントの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オルタネーター用ベルト交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォーク内のオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カルダンシャフトの目視点検と潤滑 (整備)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドライブシャフトの交換(メンテナンス時)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロントブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リアブレーキフルードの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

RADIO EQUIPMENT TFT INSTRUMENT CLUSTER	227
KEYLESS RIDE SYSTEM MAIN UNIT	227
KEYLESS RIDE SYSTEM ACTIVE KEY	228

RADIO EQUIPMENT TFT INSTRUMENT CLUSTER

For all Countries without EU

Model name: LIN2BTLE Gateway
Manufacturer

Bury Sp. z o.o.
ul. Wojska Polskiego 4, 39-300
Mielec, Poland

Technical Information

BTLE: 2400 MHz - 2483,5 MHz
Output power: < - 3 dBm

Country

Japan



R 202-JKM011

Japanese Radio Law (電波法)
compliance:

This device is granted
pursuant to the Japanese
Radio Law (電波法). This
device should not be modified
(otherwise the granted
designation number will become
invalid).

KEYLESS RIDE SYSTEM MAIN UNIT

For all countries without EU

Model name: ZB005

Manufacturer

ZADI S.p.A.
Via Carlo Marx 138, 41012 Carpi
(MO), Italy

Technical Information

Nominal voltage:
13,5 V
Operating voltage:
6,7 - 16 V
Operating temperature:
-20 °C - +60 °C
Operating frequency LF:
134,5 kHz
Operating frequency HF:
433,92 MHz
RF power:

< 66 dBμA/m

IP grade:

IP5K6K

Country

Japan



228 付録

KEYLESS RIDE SYSTEM ACTIVE KEY Japan

For all countries without EU

Model name: ZB006

Manufacturer

ZADI S.p.A.

Via Carlo Marx 138、41012 Carpi
(MO)、Italy



Technical Information

Battery type

CR2032

Nominal voltage:

3 V

Operating voltage:

2,5 - 3,16 V

Operating temperature:

-20 °C - +60 °C

Operating frequency LF:

134,5 kHz

Operating frequency HF:

433,92 MHz

RF power:

< 10 mW e.r.p.

IP grade:

IP5K7

Country

230 索引

A

ABS

- 技術情報, 128
- 警告表示, 36, 38, 39

D

DTC

- OFFにする, 78
- ONにする, 79
- 技術情報, 131
- 警告表示, 36, 37, 38
- 操作する, 78

DWA

- 警告表示, 40, 41

Dynamic Brake Control, 136

- 技術情報, 136

E

EWS

- 電子式イモビライザー(EWS), 37

H

Hill Start Control, 84, 140

Hill Start Control Pro

- 技術情報, 139
- 操作する, 85
- 調整する, 84

K

Keyless Ride

- 警告表示, 39, 40
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失, 68

P

Pairing, 87

Pre-Ride-Check, 115

R

RDC

- 技術情報, 137
- 警告表示, 47, 48

S

SETUP

- 終了する, 61
- 選択する, 61
- リセットする, 62

U

USB 充電ソケット

- 車両における位置, 14

あ

アクセサリー

- 一般的な情報, 174

安全に関する注意事項

- ブレーキ, 118
- ライディングにあたって, 110

い

イグニッション

- イグニッションを OFF にする, 68
- イグニッションを ON にする, 68

イグニッションキルスイッチ

- チ, 18
- 操作する, 71

インジケーター／警告灯, 19, 20

- 全体図, 24, 26

う

ウインカー

- 操作する, 72
- 操作部, 17

え

エンジン

警告表示, 42, 43

仕様(諸元), 196

スタート, 114

エンジンオイル

充填レベル表示, 14

充填レベルを点検する, 146

仕様(諸元), 195

注入口, 15

補充する, 147

エンジン温度

異常高温用警告表示, 46

エンジン始動ロック

EWS 警告表示, 37

スペアキー, 71

エンジンブレーキトルクレギュ

レーター, 132

お

お手入れ

クローム, 186

ケア用品, 184

洗車, 184

ペイント保護コーティング,
187

オドメーター

表示 : KM, 58

表示する, 56

オフロード走行, 116

か

外気温度, 36

型式プレート

車両における位置, 14

き

キー, 67

記号と意味, 4

ギヤボックス

仕様(諸元), 196

給油する, 122

く

クーラント温度

表示 : ENGTMP, 58

表示する, 56

駆動システム故障警告灯, 43

クラッチ

機能を点検する, 153

クラッチレバーを調整する, 97

仕様(諸元), 196

リザーバータンク, 14

グリップヒーター, 86

操作する, 86

クルーズコントロール

警告表示, 44

操作する, 81

け

警告灯, 19, 20

警告表示, 45

ABS, 36, 38, 39

DTC, 36, 37, 38

Keyless Ride, 39, 40

RDC, 47, 48

エンジン, 43

エンジン温度, 46

エンジンコントロール, 42, 43

外気温度警告, 36

駆動システム故障警告灯, 43

クルーズコントロール, 44

サービス, 41

232 索引

サイドスタンド, 44
車両電装システム電圧, 45
全体図, 24
電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) EWS, 37
盗難警報装置, 40, 41
バッテリー, 46
表示, 29
フューエルリザーブ容量, 48
ライトコントロールの故障, 42
ライトバルブの不具合, 41
警告表示一覧, 31

こ

コーナリングライト
技術情報, 141
固定ベルト
車両における位置, 14
コンビネーションスイッチ
左側面, 17
右側面, 18

さ

サービス, 207
警告表示, 41
サービス履歴, 208
サービス表示, 49
サスペンション
仕様(諸元), 197

し

シート
取り付ける, 90
取り外す, 90
始動, 114
操作部, 18

シフトアシスト
技術情報, 138
走行, 117
シフトレバー, 99
締め付けトルク, 193
車台番号
車両における位置, 15
車両電装システム電圧, 46
ジャンプスタート, 163
重量
仕様(諸元), 202
仕様(諸元)
エンジン, 196
エンジンオイル, 195
ギヤボックス, 196
クラッチ, 196
サスペンション, 197
重量, 202
スパークプラグ, 200
寸法, 201
性能, 202
電装系, 199
燃料, 195
バッテリー, 200
ヒューズ, 200
ブレーキ, 197
フレーム, 197
ホイールとタイヤ, 198
ライトバルブ, 200
リヤホイールドライブ, 196
ショックアブソーバー
調整する, 103
診断コネクタ
固定する, 171
外す, 170

す

- ステアリングロック
 - ステアリングロックを解除する, 66
 - ステアリングロックをロックする, 66
- スパークプラグ
 - 仕様(諸元), 200
- スピードメーター, 19, 25
- スプリングブリロード
 - 調整エレメント(リヤ), 15
 - 調整する, 100
- スマートフォンホルダー
 - 操作する, 88, 89
- 寸法
 - 仕様(諸元), 201

せ

- 性能
 - 仕様(諸元), 202
- 積載荷重一覧
 - 注意書, 16
- 設定
 - 表示: SETUP ENTER, 58
 - 表示する, 56
- 全体図
 - インジケーター/警告灯, 24, 26
 - シート下, 16
 - ディスプレイ, 25
 - 左コンビネーションスイッチ, 17
 - 左側面, 14
 - 右側面, 15

- 右ハンドルバーフィッティング, 18
- メーターパネル, 19, 20, 27, 28

そ

- 走行モード, 79
 - 技術情報, 134
- 操作エレメント, 54

た

- タイヤ
 - 最高速度, 111
 - 充填圧, 199
 - 充填圧を点検する, 154
 - 仕様(諸元), 198
 - トレッドの溝の深さを点検する, 154
 - 慣らし走行, 116
- タイヤ空気圧
 - 注意書, 14

ち

- チェックリスト, 113
- 駐車, 121

つ

- ツールキット
 - 車両における位置, 16
 - 使用, 145

て

- デイライト
 - オートマチックデイライト, 73

234 索引

- ディスプレイ, 19, 20
 - SETUP, 61
 - SETUPを終了する, 61
 - 全体図, 25
 - ディスプレイの明るさを調整する, 63
- 電源ソケット
 - 車両における位置, 14
 - 使用上の注意, 174
- 電装系
 - 仕様(諸元), 199
- 電話
 - 接続する, 89
- と
- 盗難警報装置(DWA)
 - OFFにする, 77
 - ONにする, 75
 - インジケーター／警告灯, 19, 20
 - 操作する, 75
 - 調整する, 78
- 時計
 - 調整する, 63
 - 表示 : CLOCK, 58
 - 表示する, 56
- トラクションコントロール, 131
 - DTC, 131
- トラブルシューティング, 192
- トリップメーター
 - 表示 : KM 1 または KM A, 58
 - 表示する, 56
 - リセットする, 60
- な
- 慣らし走行, 115

- に
- 荷物
 - 固定する, 176
- ね
- 燃料
 - 給油手順, 122
 - 仕様(諸元), 195
 - フィルターネック, 14
 - フューエルリザーブ容量, 49
- は
- ハザードランプ
 - 操作する, 72
 - 操作部, 17
- バッテリー
 - 警告表示, 45, 46
 - 仕様(諸元), 200
 - バッテリーを交換する, 168
 - バッテリーを充電する, 166
 - メンテナンスに関する注意, 165
- バルブ
 - LEDバルブを交換する, 163
 - 警告表示, 41, 42
 - 仕様(諸元), 200
- ハンドルバー
 - 調整する, 99
- ひ
- 日付
 - 調整する, 63
- Pure Ride
 - 全体図, 27, 28
- ヒューズ
 - 交換する, 168
 - 車両における位置, 16
 - 仕様(諸元), 200

ふ

- フォロワーホームライト, 72
- フットレスト
 - 車両における位置, 14
- フューエルリザーブ容量
 - インジケーター／警告灯, 48
 - 走行距離の表示, 56
 - 走行距離の表示 : KM R, 58
- ブレーキ
 - ABS Pro, 131
 - ABS Pro は走行モードに対応, 120
 - Dynamic Brake Control は走行モードに対応, 120
 - 安全に関する注意事項, 118
 - 機能を点検する, 148
 - 仕様(諸元), 197
 - ブレーキレバーを調整する, 98
 - 摩耗インジケーター, 150
- ブレーキパッド
 - 慣らし走行, 115
 - フロントを点検する, 148
 - リヤを点検する, 149
- ブレーキフルード
 - フロント充填レベルを点検する, 151
 - フロントリザーバータンク, 15
 - リヤ充填レベルを点検する, 152
 - リヤリザーバータンク, 15
- フレーム
 - 仕様(諸元), 197
- フロントホイールスタンド
 - 取り付ける, 146

へ

- 平均値
 - リセットする, 60
- ヘッドライト
 - 光軸, 96
 - 右側／左側通行の国での調整, 96

ほ

- ホイール
 - サイズ変更, 155
 - 仕様(諸元), 198
 - スポークを点検する, 155
 - フロントホイールを取り付ける, 158
 - フロントホイールを取り外す, 155
 - ホイールリムを点検する, 155
 - リヤホイールを取り付ける, 162
 - リヤホイールを取り外す, 161
- ホーン, 17
- ボルト, 193

み

- ミラー
 - 調整する, 96

む

- 無線キー
 - 警告表示, 39, 40

236 索引

- め**
メンテナンス
メンテナンススケジュール, 210
メンテナンススケジュール, 208
メンテナンスの確認, 213
メーターパネル
周囲輝度センサー, 20
全体図, 20
操作する, 52
表示の環境設定を行う, 62
- も**
モーターサイクル
お手入れ, 182
固定する, 123
再使用, 188
清掃する, 182
駐車, 121
長期保管, 187
モビリティサービス, 208
- ら**
ライト
オートマチックデイライト, 73
コーナリングライト, 141
操作部, 17
パーキングライトを操作する, 73
ハイビームを操作する, 72
パッシングライトを操作する, 72
フォロミーホームライト, 72
ポジション／パーキングライト, 72
補助ヘッドライトを操作する, 73
ロービーム, 72
- り**
リサイクル, 206
リモートコントロール
バッテリーを交換する, 69
リヤシート
ロック, 15
リヤホイールスタンド
取り付ける, 146
リヤホイールドライブ
仕様(諸元), 196

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2025 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

オリジナル取扱説明書、Printed
in Germany

燃料補給用データ :

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (スーパ-) (エタノール 15 %以下、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
-------------	--

燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (エタノール 15 %以下、E15) 91 ROZ/RON 87 AKI
----------	--

フューエル容量	約 15.5 l
---------	----------

フューエルリザーブ容量	約 4 l
-------------	-------

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.3 bar、1名乗車時(タイヤ冷間時) 2.5 bar、2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時)
--------------	---

タイヤ空気圧(リヤ)	2.5 bar、1名乗車時(タイヤ冷間時) 2.7 bar、2名乗車+荷物積載時(タイヤ冷間時)
------------	---

ご使用の車両に関する詳細情報については、こちらのサイトをご覧ください：
bmw-motorrad.com

